

大学番号：私373

注3

[平成23年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

相愛大学 音楽学部 音楽マネジメント学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 相愛学園
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長室

職名・氏名

電話番号 06-6612-5902

（夜間） 06-6612-5900

F A X 06-6612-2994

e-mail g-shitsu@soai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

| | | |
|---|---------------|----|
| 1 | 調査対象大学等の概要等 | 1 |
| 2 | 授業科目の概要 | 5 |
| 3 | 施設・設備の整備状況，経費 | 13 |
| 4 | 既設大学等の状況 | 14 |
| 5 | 教員組織の状況 | 15 |
| 6 | 留意事項に対する履行状況等 | 28 |
| 7 | その他全般的事項 | 33 |
| | 別紙1 | 36 |
| | 別紙2 | 37 |

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 相愛学園

(2) 大学名

相愛大学

(3) 大学の位置

〒559-0033 大阪府大阪市住之江区南港中4丁目4番1
 〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町4丁目1番23号 (2年次から使用)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

| 職名 | 届出時 | 変更状況 | 備考 |
|------|------------------------------------|--|---------------------------------|
| 理事長 | (デグチ タンリュウ) 出口 湛 龍 (平成17年6月) | (カネコ サトル) 金 児 暁 嗣 (平成24年1月) | 前任者が平成23年12月31日をもって辞任のため(24) |
| 学 長 | (カネコ サトル) 金 児 暁 嗣 (平成22年4月) | | |
| 学部長 | (オオマエ サトシ) 大 前 哲 (平成20年4月) | (タケバヤシ ヒデノリ) 竹 林 秀 憲 (平成24年4月) | 前任者が平成24年3月31日をもって任期満了退任のため(24) |
| 学科長等 | (ヤスイ トシオ) 安 井 敏 雄 (平成23年4月) | (マツタニ ヨウコ) 松 谷 葉 子 (平成26年4月) | 前任者が平成26年3月31日をもって退職のため(26) |
| | | (オオイワ ハジメ) 大 岩 元 (平成25年4月) | 前任者が平成25年4月10日をもって辞任のため(25) |

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)
 平成26年度に報告する内容 → (26)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成23年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

| 調査対象学部等の名称(学位) | 設置時の計画 | | | | 備考 |
|------------------------------------|--------|------|----------|------|----|
| | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | |
| 音楽学部 音楽マネジメント学科 学士(音楽マネジメント) | 4年 | 50人 | - 年次人 | 200人 | |

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

| 区分 | 対象年度 | | 平成23年度 | | 平成24年度 | | 平成25年度 | | 平成26年度 | | 平均入学定員 超過率 | 備考 |
|----------------|-----------------------|---------------------|-----------------------|---------------------|-----------------------|---------------------|-----------------------|---------------------|-----------------------|--|---------------|----|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | | | | |
| A 入学定員 | 50人 (-) [-] | - | 50人 (-) [-] | - | 50人 (-) [-] | - | 50人 (-) [-] | - | 50人 (-) [-] | | 0.40倍 | |
| 志願者数 | 20 (-) [-] | - (-) [-] | 23 (-) [-] | - (-) [-] | 28 (-) [1] | - (-) [-] | 14 (-) [-] | - (-) [-] | | | | |
| 受験者数 | 20 (-) [-] | - (-) [-] | 23 (-) [-] | - (-) [-] | 27 (-) [1] | - (-) [-] | 14 (-) [-] | - (-) [-] | | | | |
| 合格者数 | 20 (-) [-] | - (-) [-] | 23 (-) [-] | - (-) [-] | 27 (-) [1] | - (-) [-] | 14 (-) [-] | - (-) [-] | | | | |
| B 入学者数 | 19 (-) [-] | - (-) [-] | 21 (-) [-] | - (-) [-] | 27 (-) [1] | - (-) [-] | 13 (-) [-] | - (-) [-] | | | | |
| 入学定員超過率 B/A | 0.38 | | 0.42 | | 0.54 | | 0.26 | | | | | |

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

| 学 年 | 平成23年度 | | 平成24年度 | | 平成25年度 | | 平成26年度 | | 備 考 | |
|-----|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|------------|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | | |
| 1年次 | [-] 19 | [-] - | [-] 21 | [-] - | [1] 27 | [-] - | [-] 13 | [-] - | | |
| 2年次 | / | | [-] 19 | [-] - | [-] 21 | [-] - | [1] 25 | [-] - | | |
| 3年次 | | | / | | / | | [-] 15 | [-] - | [-] 21 | [-] - |
| 4年次 | | | | | | | / | | / | |
| 計 | | | [-] 19 | [-] 40 | [1] 63 | [1] 73 | | | | |

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

| 区分 対象年度 | 入学者数(b) | 退学者数(a) | 退学者数(内訳) | | | 主な退学理由 | 入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b) |
|---------------|---------|---------|----------|------|-----------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| | | | 退学した年度 | 退学者数 | 退学者数の うち留学生数 | | |
| 平成23年度 入学者 | 19 人 | 5 人 | 平成23年度 | 0 人 | 0 人 | 進路変更(2人)、他大学編入(1人)、一身上の 理由(1人) | 26.3 % |
| | | | 平成24年度 | 4 人 | 0 人 | | |
| | | | 平成25年度 | 0 人 | 0 人 | | |
| | | | 平成26年度 | 1 人 | 0 人 | | |
| 平成24年度 入学者 | 21 人 | 0 人 | 平成24年度 | 0 人 | 0 人 | | 0 % |
| | | | 平成25年度 | 0 人 | 0 人 | | |
| | | | 平成26年度 | 0 人 | 0 人 | | |
| 平成25年度 入学者 | 27 人 | 2 人 | 平成25年度 | 0 人 | 0 人 | 進路変更(1人)、就学意欲の低下(1人) | 7.4 % |
| | | | 平成26年度 | 2 人 | 0 人 | | |
| 平成26年度 入学者 | 13 人 | 0 人 | 平成26年度 | 0 人 | 0 人 | | 0 % |
| 合 計 | 80 人 | 7 人 | | | | | 8.8 % |

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<音楽学部 音楽マネジメント学科>

(1) 授業科目表

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | | |
|----------------------------|--------------|------------------------|-----------------------------|----|--------|----------|-----|----|----|----|----|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | | |
| 基礎科目 基礎科目・共通科目 共通科目① | | | | | | | | | | | | 平成26年度入学生から科目区分を変更(26) | |
| | 基本理念(十群) | 建学の精神 | 1前・後 | 2 | | | | | | | | 兼7 | |
| | | 仏教思想と現代 | 2前・後 | 2 | | | | | | | | 兼5 | |
| | | 科学と人間 | 2前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 平成26年度入学生から科目を廃止(26) |
| | | 環境と人間 | 2前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 平成26年度入学生から科目を廃止(26) |
| | | 生命と人間 | 2後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 平成26年度入学生から科目を廃止(26) |
| | 地域 | 大学と地域社会 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 平成26年度入学生から科目を追加(26) |
| | | 大阪学入門 | 2前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 平成26年度入学生から科目を追加(26) |
| | | まちづくり入門 | 2後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 平成26年度入学生から科目を追加(26) |
| | キャリア | キャリアデザイン論 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 平成26年度入学生より「共通科目①その他」から移行(26) |
| | | キャリアデザイン演習 | 2後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 履修希望者がいなかったため(26) 平成26年度入学生より「共通科目①その他」から移行(26) |
| | | インターンシップ実践 インターンシップ | 3前 | | 2 1 | | | | | | | 兼1 | 履修希望者がいなかったため(26) 平成26年度入学生より科目の名称・単位数を変更し、「共通科目①その他」から移行(26) |
| | 日本語スキル(廿群) | 大学生のための日本語入門 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 兼4 | |
| | | 文章表現 日本語表現法 | 2前・後 未開講 2前・後 | | 2 | | | | | | | 兼2 | 平成26年度入学生から科目の名称を変更(26) 通常開講(25) 履修希望者がいなかったため(24) |
| | 人文系 | 文学と人生 | 1前 | | 2 | | | | | | | | 平成26年度は、未開講(26) |
| | | 音楽の楽しみ | 2後 未開講 2後 2後 2前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 通常開講(26) 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) 開講時期適正化のため変更(24) |
| | | 西洋美術史 | 2前 未開講 2前 2後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 通常開講(25) 履修希望者がいなかったため(24) 開講時期適正化のため変更(24) |
| | | 西洋文化史 | 1前 未開講 1前 1前 1前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 通常開講(26) 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23) |
| | | 美学 | 1後 未開講 1後 1後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 通常開講(25) 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23) |
| | | 日本歴史入門 | 1前 1後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 開講時期適正化のため変更(23) |
| | 世界歴史入門 | 2後 2後 2後 2前 | | 2 | | | | | | | | 平成26年度は、未開講(26) 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) 開講時期適正化のため変更(24) | |
| | 地理学入門(地誌を含む) | 1後 未開講 1後 1前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 通常開講(24) 開講時期適正化のため変更(23) 履修希望者がいなかったため(23) | |
| | 倫理学入門 | 1前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 履修希望者がいなかったため(26) | |
| | 心理学入門 | 1後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | |
|-----------------|---------|-----------|-----------------------------------|----|----|----------|-----|----|----|----|--|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| 基礎科目・共通科目(大学共通) | 社会科学系 | 社会学概説 | 1 後 未開講 1 前 1 前・後 1 前 | | 2 | | | | | | | 兼1 通常開講(26) 開講時期適正化のため後期に変更(26) 開講時期適正化のため前期に変更(25) 履修希望者がいなかったため(25) 開講時期を前期と後期に変更(24) |
| | | 社会と芸術 | 1 前 1 後 未開講 1 後 | | 2 | | | | | | 兼1 開講時期適正化のため前期に変更(26) 通常開講(24) 履修希望者がいなかったため(23) | |
| | | 経済学入門 | 1 前 1 後 1 前 未開講 1 前 | | 2 | | | | | | 兼1 開講時期適正化のため前期に変更(26) 開講時期適正化のため後期に変更(25) 通常開講(24) 履修希望者がいなかったため(23) | |
| | | 経営学入門 | 2 前 未開講 2 前 | | 2 | | | | | | 兼1 通常開講(25) 履修希望者がいなかったため(24) | |
| | | マーケティング入門 | 2 後 2 前 2 後 | | 2 | | | | | | 兼1 平成26年度は、未開講(26) 開講時期適正化のため後期に変更(25) 開講時期適正化のため変更(24) | |
| | | 観光学入門 | 2 前 未開講 2 前 2 前 | | 2 | | | | | | 兼1 通常開講(26) 平成25年度は、未開講(25) 履修希望者がいなかったため(24) | |
| | | 政治学入門 | 1 前 1 後 未開講 1 後 | | 2 | | | | | | 兼1 履修希望者がいなかったため(26) 開講時期適正化のため前期に変更(26) 平成25年度は、未開講(25) 通常開講(24) 履修希望者がいなかったため(23) | |
| | | 法学入門 | 1 前 | | 2 | | | | | | 兼1 開講時期を前期と後期に変更(25) 開講時期適正化のため変更(23) | |
| | | 日本国憲法 | 1 前・後 1 後 1 前 | | 2 | | | | | | 兼2 | |
| | | 教育原論 | 1 前・後 未開講 1 前・後 | | 2 | | | | | | 兼1 通常開講(26) 履修希望者がいなかったため(25) | |
| | 自然科学系 | 数学入門 | 2 前 未開講 2 後 | | 2 | | | | | | 兼1 開講時期適正化のため前期に変更(25) 通常開講(25) 履修希望者がいなかったため(24) | |
| | | 地球と宇宙 | 1 前 1 後 未開講 1 後 1 前 | | 2 | | | | | | 兼1 開講時期適正化のため前期に変更(25) 通常開講(24) 開講時期適正化のため変更(23) 履修希望者がいなかったため(23) | |
| | | 物理学入門 | 1 後 1 前 | | 2 | | | | | | 兼1 開講時期適正化のため変更(23) | |
| | | 科学史入門 | 1 前 未開講 1 前 | | 2 | | | | | | 兼1 通常開講(24) 履修希望者がいなかったため(23) | |
| | | 化学入門 | 1 後 未開講 1 後 1 後 | | 2 | | | | | | 兼1 通常開講(25) 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23) | |
| | | 生物学入門 | 1 前 1 後 | | 2 | | | | | | 兼1 開講時期適正化のため変更(23) | |
| | | 現代と医学 | 2 後 2 後 2 後 2 前 | | 2 | | | | | | 兼1 履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) 開講時期適正化のため変更(24) | |
| | | 看護介護入門 | 1 後 未開講 2 前・後 | | 2 | | | | | | 兼1 通常開講(24) 履修希望者がいなかったため(23) | |
| | | 健康科学 | 2 前・後 未開講 2 前・後 2 後 | | 2 | | | | | | 兼2 通常開講(26) 履修希望者がいなかったため(25) 開講時期を前期と後期に開講(24) | |
| | | その他 | | | | | | | | | | |

| 科目 区分 | 授業科目の名称 | 配当 年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備 考 | |
|-----------------|---------------|-------------|-----------------------------|----------------|----|----------|-----|----|----|----|---|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| 基礎科目・共通科目（大学共通） | その他 共通科目 ① | 健康とスポーツ実習 | | 1 | | | | | | | 兼 3 | |
| | | 生涯健康とスポーツ実習 | 2前 2前 2前 2前・後 | 1 | | | | | | | 兼 1 履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) 開講時期を前期に変更(24) | |
| | | キャリアデザイン論 | 1前 未開講 | 2 | | | | | | | 兼 1 平成26年度入学生から「基礎科目 キャリア」へ移行(26) 通常開講(25) | |
| | | キャリアデザイン演習 | 2後 2後 | 2 | | | | | | | 兼 1 平成26年度入学生から「基礎科目 キャリア」へ移行(26) 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) | |
| | | インターンシップ | 3前 3前・後 | 4 | | | | | | | 兼 1 平成26年度入学生から科目の名称・ 単位数を変更し、「基礎科目キャリ ア」へ移行(26) 開講時期適正化のため前期に変更(25) 履修希望者がいなかったため(25) | |
| | | 情報処理演習 | 1前・後 | 2 | | | | | | | 兼 3 | |
| | | 情報と社会 | 1前 未開講 1前 1前 1前 | 2 | | | | | | | 兼 1 通常開講(26) 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23) 開講時期適正化のため変更(24) | |
| | | 生涯学習概論 | 1前 1後 | 2 | | | | | | | 兼 1 | |
| | | 図書館概論 | 1前 | 2 | | | | | | | 兼 1 司書課程変更により科目を追加(24) | |
| | | 図書及び図書館史 | 1前 | 2 | | | | | | | 司書課程変更により科目を削除(24) 履修希望者がいなかったため(23) | |
| | | ボランティア論 | 2前 未開講 2前 | 2 | | | | | | | 兼 1 通常開講(25) 履修希望者がいなかったため(24) | |
| | | ボランティア体験 | 2後 未開講 2後 2後 | 1 | | | | | | | 兼 1 通常開講(26) 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) | |
| | | 教職入門 | 2前・後 | 2 | | | | | | | 兼 1 履修希望者がいなかったため(26) 教職課程変更により、 平成25年度入学生から名称変更(25) | |
| | | 学校と教師 | 2前・後 2前・後 | 2 | | | | | | | 兼 2 履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(25) | |
| | | 異文化間教育論 | 2後 2後 2後 | 2 | | | | | | | 兼 1 履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) | |
| | | 宗門法規 | 2前 2前 2前 | 2 | | | | | | | 兼 1 履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) | |
| | | 布教法 | 2後 2後 2後 | 2 | | | | | | | 兼 1 履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) | |
| | | 勤式作法 | 2前 未開講 2後 | 2 | | | | | | | 兼 1 開講時期適正化のため前期に変更(25) 通常開講(25) 平成24年度は、未開講(24) | |
| | | 語学関係 I | 英会話 I | 1前 | | 2 | | | | | | 兼 6 |
| | | | 英会話 II | 1後 | | 2 | | | | | | 兼 6 |
| | | | 英会話 III | 2前 2前 2前 | | 2 | | | | | | 兼 1 履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) |
| | | | 英会話 IV | 2後 2後 2後 | | 2 | | | | | | 兼 1 履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) |
| | | | 英語 I | 1前 | | 2 | | | | | | 兼 5 |
| | | | 英語 II | 1後 | | 2 | | | | | | 兼 5 |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | | |
|-----------------|----------|-----------|-----------------------|---------|----|----------|-----|----|----|----|----|--|----|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | | |
| 基礎科目・共通科目(大学共通) | 語学関係 I | 英語Ⅲ | 2前 2前 2前 | | 2 | | | | | | | 兼1 履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) | |
| | | 英語Ⅳ | 2後 2後 2後 | | 2 | | | | | | | 兼1 履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) | |
| | | ドイツ語Ⅰ | 1前 未開講 1前 | | 2 | | | | | | | 兼2 履修希望者がいなかったため(23) 通常開講(24) | |
| | | ドイツ語Ⅱ | 1後 未開講 1後 | | 2 | | | | | | | 兼2 履修希望者がいなかったため(23) 通常開講(24) | |
| | | イタリア語Ⅰ | 1前 未開講 1前 | | 2 | | | | | | | 兼2 履修希望者がいなかったため(23) 通常開講(24) | |
| | | イタリア語Ⅱ | 1後 未開講 1後 | | 2 | | | | | | | 兼2 履修希望者がいなかったため(23) 通常開講(24) | |
| | | フランス語Ⅰ | 1前 未開講 1前 | | 2 | | | | | | | 兼1 通常開講(26) 履修希望者がいなかったため(25) | |
| | | フランス語Ⅱ | 1後 未開講 1後 | | 2 | | | | | | | 兼1 通常開講(26) 履修希望者がいなかったため(25) | |
| | | 中国語Ⅰ | 1前 未開講 1前 1前 | | 2 | | | | | | | 兼1 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23) | |
| | | 中国語Ⅱ | 1後 未開講 1後 1後 | | 2 | | | | | | | 兼1 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23) | |
| | 語学関係 II | 資格英語ⅠA | 1前 未開講 1前 1前 | | 2 | | | | | | | 兼1 通常開講(25) 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23) | |
| | | 資格英語ⅠB | 1後 未開講 1後 1後 | | 2 | | | | | | | 兼1 通常開講(25) 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23) | |
| | | 資格英語ⅡA | 1前 1前 1前 1前 | | 2 | | | | | | | 兼1 履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23) | |
| | | 資格英語ⅡB | 1後 1後 1後 | | 2 | | | | | | | 兼1 履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23) | |
| | | 資格英語ⅢA | 2前 2前 2前 | | 2 | | | | | | | 兼1 履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) | |
| | | 資格英語ⅢB | 2後 2後 2後 | | 2 | | | | | | | 兼1 履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) | |
| | | 専門科目 | I | 音楽基礎演習A | 1前 | 2 | | | | | | | 兼1 |
| | | | | 音楽基礎演習B | 1後 | 2 | | | | | | | 兼1 |
| | ソルフェージュA | | | 1前 | 2 | | 1 | | | | | 兼1 | |
| | ソルフェージュB | | | 1後 | 2 | | 1 | | | | | 兼1 | |
| 群 | 合唱 | | 1後 | | 2 | | | | | | 兼1 | 履修希望者がいなかったため(26) | |
| | 諸民族の音楽 | | 2前・後 2前 | | 2 | | | | | | 兼1 | 開講時期を前期と後期に開講(24) | |
| | 音楽の歴史A | | 1前 | | 2 | | | | | | 兼1 | 履修希望者がいなかったため(26) | |
| | 音楽の歴史B | | 1後 | | 2 | | | | | | 兼1 | 履修希望者がいなかったため(26) | |
| | | ポピュラー音楽概論 | 2前 | 2 | | 1 | | | | | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | | |
|----------------|----------------|-------------------|----------|----|----|----------|-----|--------|----|----|-------------------|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | | |
| 専門科目 | コード・プログレッション | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| | 和声学 | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| | キーボード・ハーモニー | 2後 | | 2 | | | | | | | | 兼1 | |
| | 作・編曲法基礎 | 3前 | 2 | | | 1 | | | | | | 兼1 | |
| | 作・編曲法応用 | 3後 | 2 | | | 1 | | | | | | 兼1 | |
| | 楽器学 | 3前 | | 2 | | | | | | | | 兼1 | |
| | 楽曲分析 | 4前 | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | 音楽演習ⅠA | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | | 兼14 | |
| | 音楽演習ⅠB | 1後 | 2 | | | 1 | | | | | | 兼14 | |
| | 音楽演習ⅡA | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | | 兼15 | |
| | 音楽演習ⅡB | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | | 兼15 | |
| | 音楽演習ⅢA | 3前 | | 2 | | | | | | | | 兼15 | |
| | 音楽演習ⅢB | 3後 | | 2 | | | | | | | | 兼15 | |
| | 音楽演習ⅣA | 4前 | | 2 | | | | | | | | 兼15 | |
| | 音楽演習ⅣB | 4後 | | 2 | | | | | | | | 兼15 | |
| | 合奏ⅠA | 1前 | | 2 | | 1 | | | | | | 兼4 | |
| | 合奏ⅠB | 1後 | | 2 | | 1 | | | | | | 兼4 | |
| | 合奏ⅡA | 2前 | | 2 | | 1 | | | | | | 兼4 | |
| | 合奏ⅡB | 2後 | | 2 | | 1 | | | | | | 兼4 | |
| | 合奏ⅢA | 3前 | | 2 | | 1 | | | | | | 兼4 履修希望者がいなかったため(26) 専任教授追加(25) | |
| | 合奏ⅢB | 3後 | | 2 | | 1 | | | | | | 兼4 履修希望者がいなかったため(26) 専任教授追加(25) | |
| | 合奏ⅣA | 4前 | | 2 | | 1 | | | | | | 兼4 専任教授追加(26) | |
| | 合奏ⅣB | 4後 | | 2 | | 1 | | | | | | 兼4 専任教授追加(26) | |
| | 歌唱法 | 2後 | | 2 | | | | | | | | 兼1 | |
| | コンピュータミュージック基礎 | 3前 | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | コンピュータミュージック制作 | 3後 | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | 群 | 音楽マネジメント入門 | 1前 | 2 | | | 2 | 1 2 | 1 | | | | 専任准教授のみ開講(26) |
| | | 音楽マネジメント・リーダーシップ論 | 1前 | 2 | | | | | | | | | 兼1 |
| | | キャリアデザイン | 1後 | | 2 | | | | | | | | 兼1 |
| | | コミュニケーションと交渉術 | 1後 | | 2 | | | | | | | | 兼1 |
| | | 音楽とコンピュータ | 1後 | | 2 | | 1 | | 1 | | | | 専任教授が退職したため専任講師が 担当(26) |
| | | プログラミング基礎Ⅰ | 1前 1後 | 2 | | | 1 | | | | | | 兼1 専任教授が退職したため兼任講師が 担当(26) 開講時期適正化のため変更(24) |
| | | プログラミング演習Ⅰ | 1後 | 2 | | | 1 | | | | | | 兼1 専任教授が退職したため兼任講師が 担当(26) |
| プログラミング基礎Ⅱ | | 2前 | | 2 | | 1 | | | | | | 兼1 専任教授が退職したため兼任講師が 担当(26) | |
| プログラミング演習Ⅱ | | 2後 2前 | | 2 | | 1 | | | | | | 兼1 専任教授が退職したため兼任講師が 担当(26) 開講時期適正化のため変更(24) | |
| アーティストのソフトウェアA | | 1前・後 1後 | | 2 | | | | | 1 | | | 開講時期を前期と後期に開講(24) | |
| アーティストのソフトウェアB | | 2前 | | 2 | | | | | 1 | | | | |
| ビジネス英語A | | 2前 | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| ビジネス英語B | | 2後 | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| 音楽企画概論 | | 2後 | | 2 | | | 1 | | | | | | |
| 音楽企画演習 | | 2後 | 2 | | | | 2 | 1 | | | | | |
| 音楽コンテンツ配信の基礎 | | 2前 | | 2 | | | 1 | | | | | | |
| デジタル音楽機器演習A | | 2前 | | 2 | | | 1 | | | | | | |
| デジタル音楽機器演習B | | 2後 | | 2 | | | 1 | | | | | | |
| プレゼンテーション | | 2後 | | 2 | | | | | | | | 兼1 | |
| インターンシップ研究 | | 3前 | 2 | | | 2 1 | 2 | 1 | | | | 専任教授が退職したため削除(26) 専任教授追加(25) | |
| インターンシップ実習 | 3後 | 1 | | | 2 | 2 | 1 | | | | 専任教授が退職したため削除(26) | | |
| ビジネス中国語A | 3前 | | 2 | | | | | | | | 兼1 | | |
| ビジネス中国語B | 3後 | | 2 | | | | | | | | 兼1 | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | |
|------------------------------|-----------------|----------|-----|----|----|----------|--------|----|----|----|----|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| II 群 | 音楽著作権 | 3後 3前 | | 2 | | | | | | | 兼2 | 開講時期適正化のため後期に変更(25) |
| | 音楽ビジネス起業論 | 3前 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 音楽事業管理論 | 3後 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 音楽事業経営論 | 3後 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 国際文化関係論 | 3前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | アーティスト論 | 3後 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 音響学A | 3前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 音響学B | 3後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 音楽出版と広告メディア論 | 4前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | マンガ・アニメ音楽文化論 | 4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | ゲーム・ミュージック文化論 | 4前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| 専 門 科 目 音楽ビジネスコース 専門科目 | 芸術経営論 | 2後 | 2 | | | | 1 | | | | | |
| | デジタル音楽基礎概論 | 2前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | IT音楽産業概論 | 2前 | | 2 | | ± | | | | | 兼1 | 専任教授が本人の都合により退職したため兼任講師が担当(26) |
| | 音楽企画実習 | 3前 | 1 | | | | 2 | 1 | | | | |
| | 音楽産業と文化政策 | 3前 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 録音の技術と表現 | 2後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | アートマネジメント研究 | 3後 | | 2 | | ± | 1 | | | | | 専任教授が本人の都合により退職したため専任准教授が担当(26) |
| | サウンド・リインフォースメント | 3前 3後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 開講時期適正化のため前期に変更(26) |
| | 舞台組織機構概論 | 3前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 映像と音楽と放送 | 4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| 専 門 科 目 IT音楽産業コース 専門科目 | 音楽ビジネス演習 | 4前 | 2 | | | ± | 2 | 1 | | | | 専任教授が本人の都合により退職したため専任講師が担当(26) |
| | 音楽ビジネス卒業研究 | 4後 | 2 | | | ± | 2 | 1 | | | | 専任教授が本人の都合により退職したため専任講師が担当(26) |
| | デジタル音楽基礎特論 | 2前 | 2 | | | | | | | | 兼1 | |
| | IT音楽産業特論 | 2前 | 2 | | | ± | | | | | 兼1 | 専任教授が本人の都合により退職したため兼任講師が担当(26) |
| | 音楽産業ネットワーク論 | 2後 | | 2 | | ± | | | | | 兼1 | 専任教授が本人の都合により退職したため兼任講師が担当(26) |
| | 音楽とライブラリ構築 | 3前 | | 2 | | | | | | | 兼2 | |
| | コンサート企画実習 | 3前 | | 1 | | | 2 ± | 1 | | | | 専任准教授を1名追加(26) |
| | 音楽マーケティング論 | 3後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | Webデザイン | 3後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 音楽と情報科学 | 4前 | | 2 | | | | 1 | | | | |
| 専 門 科 目 IT音楽産業コース 専門科目 | CGプログラミング | 4前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | IT音楽産業演習 | 4前 | 2 | | | ± | 2 | 1 | | | | 専任教授が退職したため専任准教授が担当(26) 専任准教授を1名追加(26) |
| | IT音楽産業卒業研究 | 4後 | 2 | | | ± | 2 | 1 | | | | 専任教授が退職したため専任准教授が担当(26) 専任准教授を1名追加(26) |

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 |
|----------|-----------|---------|-----------|-------------|--------------|-------------|--------------|--|
| 必修 | 選択 | 自由 | 計 | 必修 | 選択 | 自由 | 計 | |
| 科目 35 | 科目 132 | 科目 0 | 科目 167 | 科目 [0] | 科目 [▲4△4] | 科目 [0] | 科目 [▲4△4] | ・選択科目(キャリアデザイン論、キャリアデザイン演習、インターンシップ実践)の「共通科目その他」から「基礎科目キャリア」への移動は変更にかウントしない。 |

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 未開講の理由、代替措置の有無 |
|----|-----------|-----|------|-------|-------|--|
| 1 | 勤式作法 | 2 | 2 | 一般 | 選択 | 同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度は未開講とした。 来年度開講のため代替措置は無し。(24) |
| 2 | 観光学入門 | 2 | 2 | 一般 | 選択 | 隔年開講科目のため、今年度は未開講とした。(25) |
| 3 | 政治学入門 | 2 | 1 | 一般 | 選択 | 平成25年3月に担当者より就任辞退の申し出があったため、今年度は急遽未開講とした。(25) |
| 4 | 文学と人生 | 2 | 1 | 一般 | 選択 | 同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度は未開講とした。(26) |
| 5 | 世界歴史入門 | 2 | 2 | 一般 | 選択 | 同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度は未開講とした。(26) |
| 6 | マーケティング入門 | 2 | 2 | 一般 | 選択 | 同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度は未開講とした。(26) |

(注) ・設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 廃止の理由、代替措置の有無 |
|----|----------|-----|------|-------|-------|---|
| 1 | 図書及び図書館史 | 2 | 1 | 一般 | 選択 | 図書館法施行規則一部改正に伴い、司書課程科目を変更した結果、当該科目は、名称変更の上、資格課程に移行した。代替措置として「図書館概論」を追加した。(24) |
| 2 | 科学と人間 | 2 | 2 | 一般 | 選択 | 平成26年度入学生から大学共通の「基礎科目」を見直した結果、当該科目は廃止し、新たに「地域科目」3科目を追加した。(26) |
| 3 | 環境と人間 | 2 | 2 | 一般 | 選択 | 平成26年度入学生から大学共通の「基礎科目」を見直した結果、当該科目は廃止し、新たに「地域科目」3科目を追加した。(26) |
| 4 | 生命と人間 | 2 | 2 | 一般 | 選択 | 平成26年度入学生から大学共通の「基礎科目」を見直した結果、当該科目は廃止し、新たに「地域科目」3科目を追加した。(26) |

(注) ・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

| |
|---|
| <p>・今年度開講されない科目は、選択科目であり、他の選択科目が十分に開講されているので学生の履修に支障はない。学生には、開講されない科目は、ガイダンス等を通じて来年度開講する旨を説明している。 ・大学共通の「基礎科目」の各群を「基本理念科目」、「地域科目」、「キャリア科目」、「日本語スキル科目」に見直した結果、上記3科目を廃止する。この措置は、平成26年度入学生から適用するため、平成25年度以前の入学生に対しては、従来通り開講するので支障はない。</p> |
|---|

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.04}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

| 区 分 | | 内 容 | | | | 備考 | | | |
|---------------------|----------------|--|------------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|---|---------------------------------|--|---|
| (1) 校 地 等 | 区 分 | 専 用 | 共 用 | 共用する他の 学校等の専用 | 計 | 相愛高校 (収容定員:1,200名) 相愛中学校 (収容定員:450人) と共用 届出面積 7,077㎡ セミナーハウス減 (24) | | | |
| | 校舎敷地 | 53,868 ㎡ | 1,263 ㎡ | 5,814 ㎡ | 60,945 ㎡ | | | | |
| | 運動場用地 | 13,028 ㎡ | 0 ㎡ | 0 ㎡ | 13,028 ㎡ | | | | |
| | 小 計 | 66,896 ㎡ | 1,263 ㎡ | 5,814 ㎡ | 73,973 ㎡ | | | | |
| | そ の 他 | 0 ㎡ | 0 ㎡ | 0 ㎡ | 0 ㎡ | | | | |
| | 合 計 | 66,896 ㎡ 69,982 ㎡ | 1,263 ㎡ | 5,814 ㎡ | 73,973 ㎡ 77,059 ㎡ | | | | |
| (2) 校 舎 | | 専 用 | 共 用 | 共用する他の 学校等の専用 | 計 | | | | |
| | | 35,331 ㎡ (31,450 ㎡) | 0 ㎡ (0 ㎡) | 0 ㎡ (0 ㎡) | 35,331 ㎡ (31,450 ㎡) | | | | |
| (3) 教 室 等 | | 講 義 室 47 室 | 演 習 室 13 室 | 実験実習室 129 室 | 情報処理学習施設 7 室 (補助職員 1 人) | 語学学習施設 1 室 (補助職員 0 人) | 大学全体 | | |
| (4) 専任教員研究室 | | 新設学部等の名称 音楽学部 音楽マネジメント学科 | | 室 数 9 7 室 | 専任教員2名退職による(26) | | | | |
| (5) 図 書 ・ 設 備 | 新設学部等の 名称 | 図 書 〔うち外国書〕 冊 | 学術雑誌 〔うち外国書〕 種 | 電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種 | 視聴覚資料 点 | 機械・器具 点 | 標 本 点 | 購入図書冊数増による(26) 購入図書冊数増による(25) 購入図書冊数増による(24) 購入図書冊数増による(23) 購入機器増による(24) | |
| | 音楽マネジメント 学科 | 12,501 [2,010] (12,816 [2,057]) (12,530 [2,014]) (12,249 [1,992]) (11,953 [1,971]) (11,511 [1,920]) | 46 [32] | 21 [21] | 927 | 5,729 | 1 | | |
| | 計 | 12,501 [2,010] (12,816 [2,057]) (12,530 [2,014]) (12,249 [1,992]) (11,953 [1,971]) (11,511 [1,920]) | 46 [32] | 21 [21] | 927 | 5,729 | 1 | | |
| (6) 図 書 館 | | 面 積 4,110 ㎡ | 閱 覧 座 席 数 339 | 収 納 可 能 冊 数 359 | 244,000 | | 改装に伴う座席数増(25) | | |
| (7) 体 育 館 | | 面 積 3,024 ㎡ | 体育館以外のスポーツ施設の概要 テニスコート6面、ゴルフ練習場 | | | | | | |
| (8) 経費の見積り及び維持方法の概要 | 経費の見積り | 区 分 | 開設年度 | 完成年度 | 区 分 | 開設前年度 | 開設年度 | 完成年度 | 個人研究費の金額を減じ、減じた額を大学全体の研究経費に増させた(23) 図書・設備購入費増額(24) 図書購入費変更(26) 大学全体の研究費増(26) |
| | | 教員1人当り研究費等 | 200千円 360千円 | 200千円 360千円 | 図書購入費 | 1,500千円 | 2,100千円 1,500千円 | 650千円 1,500千円 | |
| | | 共同研究費等 | 3,000千円 | 4,500千円 3,000千円 | 設備購入費 | 50,000千円 | 95,000千円 80,000千円 | 3,000千円 | |
| | 学生1人当り納付金 | 第1年次 1,800千円 | 第2年次 1,500千円 | 第3年次 1,500千円 | 第4年次 1,500千円 | 第5年次 — 千円 | 第6年次 — 千円 | | |
| 学生納付金以外の維持方法の概要 | | 私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等 | | | | | | | |

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

| 大学の名称 | 相愛大学 | | | | | | | | 備考 | |
|------------|----------|------------------|-------------------|-------------------------|----------------------|--------------------|-----------------------|--------------------------------|---|--|
| 既設学部等の名称 | 修業 年限 | 入 学 定 員 | 編入 学 定 員 | 取 込 定 員 | 容 員 | 学位又 は 称 号 | 定 員 超 過 率 | 開 設 年 度 | 所 在 地 | |
| | 年 | 人 | 年 次 人 | 人 | 人 | | 倍 | | | |
| 音楽学部 | | | | | | | | | 大阪府大阪市 住之江区南港中 4丁目4番1 音楽マネジメント学科 は、2年次より、 大阪府大阪市中央区本 町4丁目1番23号 も利用 | |
| 音楽学科 | 4 | 100 120 | - | 460 480 | 学士 (音楽) | 0.66 | 平成 12年度 | 平成26年度より 入学定員・収容定員変更 | | |
| 音楽マネジメント学科 | 4 | 50 | - | 200 150 100 50 | 学士 (音楽マナジ メント) | 0.40 | 平成 23年度 | 学年進行による収容 定員の増加 平成23年度設置 | | |
| 人文学部 | | | | | | | | | | |
| 日本文化学科 | 4 | - | - | - | 学士 (人文学) | | 昭和 59年度 | 平成25年度より 学生募集停止 | | |
| 英米文化学科 | 4 | - | - | - | 学士 (人文学) | | 昭和 59年度 | 平成21年度より 学生募集停止 | | |
| 人間心理学科 | 4 | - | - | - | 学士 (人間心理) | | 平成 12年度 | 平成23年度より 学生募集停止 | | |
| 社会デザイン学科 | 4 | - | - | - | 学士 (現代社会) | | 平成 12年度 | 平成23年度より 学生募集停止 | | |
| 仏教文化学科 | 4 | - | - | - | 学士 (人文学) | | 平成 23年度 | 平成25年度より 学生募集停止 平成23年度設置 | | |
| 文化交流学科 | 4 | - | 10 | - | 学士 (人文学) | | 平成 23年度 | 平成25年度より 学生募集停止 平成23年度設置 | | |
| 人文学科 | 4 | 90 | - | 180 90 | 学士 (人文学) | 0.74 | 平成 25年度 | 学年進行による収容 定員の増加 平成25年度設置 | | |
| 人間発達学部 | | | | | | | | | | |
| 子ども発達学科 | 4 | 100 | - | 400 | 学士 (子ども発達学) | 0.70 | 平成 18年度 | | | |
| 発達栄養学科 | 4 | 80 100 | - | 380 400 | 学士 (発達栄養学) | 0.66 | 平成 18年度 | 平成26年度より 入学定員・収容定員変更 | | |

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「平均定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・ 大学、短期大学においては学科単位(短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位)、大学院においては専攻単位で記入してください。

5 教員組織の状況

<音楽学部 音楽マネジメント学科>

(1) 担当教員表

| 認可時の計画 | | | | | 変更状況 | | | | | 備考 | | | | |
|-----------------------------|-------------|-------------------|--------------------|---|-----------------------------|-----------------|---------------------|------------|----------------------|--------------------------------------|---|-----------------|-----------------|-----------------|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | | | | | |
| 専 | 教授 (学科長) | ヤスイ トシオ 安井 敏雄 | 平成23年4月 | 音楽マネジメント入門 | 兼任 | 講師 | ヨネヤマ リョウスケ 米山 龍介 | 平成26年4月 | 音楽産業ネットワーク論 | 未開講 | 平成25年8月 安井敏雄教授一身上の都合により退職/平成26年度は、担当科目を以下の通り講ずる(26) | | | |
| | | | | インターンシップ実習 | | | | | | | | 他の兼任教員に担当変更(26) | | |
| | | | | 音楽ビジネス演習 | | | | | | | | | 他の兼任教員に担当変更(26) | |
| | | | | 音楽ビジネス卒業研究 | | | | | | | | | | 他の専任教員に担当変更(26) |
| | | | | 音楽産業ネットワーク論 | | | | | | | | | | |
| IT音楽産業概論 | 兼任 | 講師 | モリモト マサカズ 森本 雅和 | 平成26年4月 | IT音楽産業特論 | 他の兼任教員に担当変更(26) | | | | | | | | |
| IT音楽産業特論 | | | | | | | | | | | | | | |
| アートマネジメント研究 | 専 | 准教授 | スナダ カズミチ 砂田 和道 | 平成26年4月 | アートマネジメント研究 | 他の専任教員に担当変更(26) | | | | | | | | |
| | | | | | | | 平成25年4月 | インターンシップ研究 | クラス数増加に伴い担当科目を追加(25) | | | | | |
| | | | | | | | | | 未開講 | 「インターンシップ研究」は、他の専任教員も担当しているため未開講(26) | | | | |
| 専 | 教授 | アカイ トシオ 赤石 敏夫 | 平成23年4月 | ソルフェージュA ソルフェージュB 作・編曲法基礎 和声学 作・編曲法応用 | | | | | | | | | | |
| 専 | 教授 | ヤマモト エイジ 山本 英二 | 平成23年4月 | 音楽演習 I A 音楽演習 I B 音楽演習 II A 音楽演習 II B | | | | | | | | | | |
| 専 | 教授 | カシワギ レイコ 柏木 玲子 | 平成24年4月 | ポピュラー音楽概論 コード・プロGRESSION | | | | | | | | | | |
| 専 | 教授 | イヅカ イチロウ 飯塚 一朗 | 平成23年4月 | 合奏 I A 合奏 I B 合奏 II A 合奏 II B | | | | | 平成25年4月 | 合奏 III A 合奏 III B | クラス数増加に伴い担当科目を追加(25) | | | |
| | | | | | | | | | 平成26年4月 | 合奏 IV A 合奏 IV B | クラス数増加に伴い担当科目を追加(26) | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 専 | 教授 (学科長) | オオイワ ハジメ 大岩 元 | 平成23年4月 | 音楽マネジメント入門 | 専 | 講師 | ハンダ ミツヨ 橋田 光代 | 平成26年4月 | 音楽とコンピュータ | 未開講 | 平成26年3月 大岩元教授、都合により退職 平成26年度は、担当科目を以下の通り講ずる(26) | | | |
| | | | | 音楽マネジメント入門 | | | | | 他の専任教員に担当変更(26) | | | | | |
| | | | | インターンシップ研究 | | | | | | | | 他の兼任教員に担当変更(26) | | |
| | | | | インターンシップ実習 | | | | | | | | | | |
| IT音楽産業演習 | 兼任 | 講師 | コバシ ショウジ 小橋 昌司 | 平成26年4月 | プログラミング基礎 I プログラミング基礎 II | 他の兼任教員に担当変更(26) | | | | | | | | |
| IT音楽産業卒業研究 | | | | | | | | | | | | | | |
| プログラミング演習 I プログラミング演習 II | 兼任 | 講師 | モリモト マサカズ 森本 雅和 | 平成26年4月 | プログラミング演習 I プログラミング演習 II | 他の兼任教員に担当変更(26) | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|--------|-------------------|--|---------|---|-----------------------------|---------|--------|-----------------------------------|----------------------|---|----------------------|
| 専 | 准教授 (学科長) | マツタニ ヨウコ 松谷 葉子 (フジオカ ヨウコ) (藤岡 葉子) | 平成23年4月 | 音楽マネジメント入門 | | | | | 未開講 | 学科長の退職に伴い、学科長就任(26) 在籍者数から勘案した結果、未開講 「音楽マネジメント入門」は、他の専任教員も担当しているため支障はない(26) | |
| | | | | 音楽企画演習 デジタル音楽機器演習A デジタル音楽機器演習B 音楽コンテンツ配信の基礎 インターンシップ研究 インターンシップ実習 音楽事業管理論 音楽ビジネス起業論 音楽事業経営論 音楽企画実習 音楽ビジネス卒業研究 音楽ビジネス演習 | | | | | | 平成26年4月 コンサート企画実習 IT音楽産業演習 IT音楽産業卒業研究 | クラス数増加に伴い担当科目を追加(26) |
| 専 | 准教授 | スナダ カズミチ 砂田 和道 | 平成23年4月 | 音楽マネジメント入門 音楽企画概論 インターンシップ研究 音楽企画演習 音楽企画実習 芸術経営論 音楽産業と文化政策 インターンシップ実習 コンサート企画実習 アーティスト論 音楽ビジネス演習 音楽ビジネス卒業研究 | | | | | | | |
| | | | | | | | | 平成26年4月 IT音楽産業演習 IT音楽産業卒業研究 | クラス数増加に伴い担当科目を追加(26) | | |
| 専 | 講師 | ハンダ ミツヨ 橋田 光代 | 平成23年4月 | 音楽マネジメント入門 アーティストのソフトウェアA アーティストのソフトウェアB 音楽企画演習 インターンシップ研究 インターンシップ実習 音楽企画実習 コンサート企画実習 音楽と情報科学 IT音楽産業演習 IT音楽産業卒業研究 | | | | | 未開講 | 在籍者数から勘案した結果、未開講 「音楽マネジメント入門」は、他の専任教員も担当しているため支障はない(26) | |
| | | | | | | | | 平成26年4月 音楽ビジネス演習 音楽ビジネス卒業研究 | クラス数増加に伴い担当科目を追加(26) | | |
| 兼任 | 教授 | チバ シンヤ 千葉 真也 | 平成23年4月 | 大学生のための日本語入門 日本語表現法 | | | | 平成26年4月 | 文章表現 | 平成26年度入学生から、基礎科目の改定に伴い名称変更/ただし、平成25年度以前の入学生は、従前通りの名称(26) | |
| 兼任 | 教授 | ヤマシタ ノボル 山下 昇 | 平成23年4月 | 大学生のための日本語入門 | | | | | | | |
| | | | | インターンシップ | | | | 平成26年4月 | インターンシップ実践 | 平成26年度入学生から、基礎科目の改定に伴い名称変更/ただし、平成25年度以前の入学生は、従前通りの名称(26) | |
| | | | | 英語 I 英語 II | | | | | | | |
| | | | | 兼任 講師 | アライ リンダ 新井 リンダ | 平成24年4月 | 英語 III | 所属学部等の都合により担当者変更(24) | | | |
| | | | | 兼任 教授 | キノシタ(モリミツ) アリコ 木下(森光) 有子 | 平成25年4月 | 英語 III | 所属学部等の都合により担当者変更(25) | | | |
| | | | | 兼任 教授 | ヤマシタ ノボル 山下 昇 | 平成26年4月 | 英語 III | 平成26年度は、当初の計画通り担当(26) | | | |
| | | | | 兼任 教授 | キノシタ(モリミツ) アリコ 木下(森光) 有子 | 平成24年4月 | 英語 IV※ | 所属学部等の都合により担当者変更(24) | | | |
| | | | | 兼任 准教授 | イシカワ レイコ 石川 玲子 | 平成24年4月 | 英語 IV※ | 所属学部等の都合により担当者変更(24) | | | |
| 兼任 准教授 | イシカワ レイコ 石川 玲子 | 平成25年4月 | 英語 IV | オムニバス授業から通常授業に変更(25) | | | | | | | |
| 兼任 教授 | ヤマシタ ノボル 山下 昇 | 平成26年4月 | 英語 IV | 平成26年度は、当初の計画通り担当(26) | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----|-----|------------------------|---------|--|----|-----|--|---------|------------------------------|---|
| 兼任 | 教授 | シャク テツシュウ 釈 徹宗 | 平成23年4月 | 建学の精神 仏教思想と現代 | 兼任 | 准教授 | ナオバヤシ フタイ 直林 不退 (ナオバヤシ シュウイチ) (直林 修一) | 平成24年4月 | 仏教思想と現代 | 所属学科の都合により担当者変更(24) 平成25年4月1日より職位変更(25) |
| 兼任 | 教授 | トリイ マサル 鳥井 正晴 | 平成23年4月 | 文学と人生 | | | | | 未開講 | 平成26年4月より、本人の都合により退職 同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度 は未開講(26) |
| 兼任 | 教授 | クロサカ トシヤキ 黒坂 俊昭 | 平成24年4月 | 音楽の楽しみ | 兼任 | 講師 | スズキ ケイゴ 鈴木 敬吾 | 平成24年4月 | 音楽の楽しみ | 所属学部等の都合により担当者変更(24) |
| 兼任 | 教授 | クレタニ ミツシ 呉谷 充利 | 平成23年4月 | 西洋美術史 社会と芸術 | | | | | | |
| 兼任 | 教授 | エグサ ヒロユキ 江草 浩幸 | 平成23年4月 | 心理学入門 | 兼任 | 教授 | エグサ ヒロユキ 江草 浩幸 | 平成23年4月 | 心理学入門 大学生のための日本語入門 | クラス数増加に伴い担当科目を追加(23) |
| 兼任 | 教授 | ハシモト ジュンイチロウ 橋元 淳一郎 | 平成23年4月 | 物理学入門 | | | | | | |
| 兼任 | 教授 | ハセガワ セイイチ 長谷川 精一 | 平成23年4月 | 教育原論 学校と教師 | 兼任 | 講師 | オクノ ヒロユキ 奥野 浩之 | 平成24年4月 | 学校と教師 | 所属学部等の都合により担当者変更(24) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | ハシノ シゲカズ 馬場野 成和 | 平成24年4月 | 学校と教師 | 所属学部等の都合により担当者変更(24) |
| | | | | | 兼任 | 教授 | ハセガワ セイイチ 長谷川 精一 | 平成25年4月 | 教職入門 | 所属学部等の都合により上記2名から担当者変更 平成25年度入学生から、文部科学省教職員課 の指導により名称変更(25) |
| 兼任 | 教授 | マエダ マサヒロ 前田 昌宏 | 平成23年4月 | 音楽演習ⅢA 音楽演習ⅢB 音楽演習ⅣA 音楽演習ⅣB 合奏ⅠA 合奏ⅠB 合奏ⅡA 合奏ⅡB | 兼任 | 講師 | カドヤ チエ 角家 千恵 | 平成24年4月 | 合奏ⅠA 合奏ⅠB 合奏ⅡA 合奏ⅡB | 所属学部等の都合により担当者変更(24) |
| 兼任 | 教授 | サイトウ タツオ 斎藤 達男 | 平成25年4月 | 音楽演習ⅢA 音楽演習ⅢB 音楽演習ⅣA 音楽演習ⅣB 合奏ⅢA 合奏ⅢB 合奏ⅣA 合奏ⅣB | 兼任 | 講師 | カドヤ チエ 角家 千恵 | 平成26年4月 | 合奏ⅢA 合奏ⅢB 合奏ⅣA 合奏ⅣB | 所属学部等の都合により担当者変更(26) |
| 兼任 | 教授 | ナカタニ ミヅル 中谷 満 | 平成23年4月 | 音楽演習ⅢA 音楽演習ⅢB 音楽演習ⅣA 音楽演習ⅣB 合奏ⅠA 合奏ⅠB 合奏ⅡA 合奏ⅡB 合奏ⅢA 合奏ⅢB 合奏ⅣA 合奏ⅣB | | | | | | |
| 兼任 | 准教授 | ミヨシ ユキハル 三好 幸治 | 平成23年4月 | 法学入門 日本国憲法 | 兼任 | 講師 | ミノフチ マサアキ 溝渕 将章 | 平成25年4月 | 法学入門 | 平成25年4月より、本人の都合により就任辞 退。担当者変更(25) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | チヨハラ リョウイチ 千代原 亮一 | 平成25年4月 | 日本国憲法 | 平成25年4月より、本人の都合により就任辞 退。担当者変更(25) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | アキモト ヨウスケ 秋元 洋祐 | 平成26年4月 | 日本国憲法 | 平成26年4月より、本人(千代原 亮一)の都合 により就任辞退。担当者変更(26) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | オクノ ヒロユキ 奥野 浩之 | 平成25年4月 | 日本国憲法 | 平成25年4月より、本人の都合により就任辞 退。担当者変更(25) |
| 兼任 | 准教授 | ニシサコ セイイチロウ 西迫 成一郎 | 平成24年4月 | 健康科学 | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----|-----|--------------------|---------|--|----|-----|-----------------------------|---------|------------------|--|--|
| 兼任 | 准教授 | マスダ ケイ 益田 圭 | 平成24年4月 | 人権教育 | | 教授 | | | | | 平成26年4月1日より職位の変更(26) |
| 兼任 | 准教授 | イシカワ レイコ 石川 玲子 | 平成24年4月 | 資格英語ⅢA 資格英語ⅢB | 兼任 | 教授 | キノシタ(モリミツ) アリコ 木下(森光) 有子 | 平成26年4月 | 資格英語ⅢA 資格英語ⅢB | | 所属学部等の都合により担当者変更(26) |
| 兼任 | 准教授 | ハヤシ ユタカ 林 裕 | 平成23年4月 | 音楽演習ⅠA 音楽演習ⅠB 音楽演習ⅡA 音楽演習ⅡB 合奏ⅠA 合奏ⅠB 合奏ⅡA 合奏ⅡB | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | タカキ マナブ 高木 学 | | 社会学概説 情報処理演習 | 兼任 | 講師 | オウ カズミ 翁 和美 | 平成26年4月 | 社会学概説 | | 平成23年4月1日より職位の変更(23) 所属学部等の都合により担当者変更(26) |
| 兼任 | 講師 | イノウエ マキ 井上 麻紀 | 平成23年4月 | 音楽演習ⅠA 音楽演習ⅠB 音楽演習ⅡA 音楽演習ⅡB | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | イズミ タカコ 泉 貴子 | 平成25年4月 | 音楽演習ⅢA 音楽演習ⅢB 音楽演習ⅣA 音楽演習ⅣB | | 准教授 | | 平成26年4月 | 音楽演習ⅡA 音楽演習ⅡB | | 平成26年4月1日より職位の変更(26) クラス数増加に伴い担当科目を追加(26) |
| 兼任 | 講師 | イシイ タカコ 石井 尚子 | 平成23年4月 | 音楽基礎演習A 音楽基礎演習B | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | カサヤ イクコ 粕谷 育子 | 平成23年4月 | ソルフェージュA ソルフェージュB | | | | | 未開講 | | クラス編成の都合上、未開講 「ソルフェージュA、B」は、他のクラスがあるので 支障はない(24) |
| 兼任 | 講師 | ヨシザワ ユカリ 古澤 ゆかり | 平成23年4月 | ソルフェージュA ソルフェージュB 和声学 作・編曲法基礎 作・編曲法応用 | | | | | 未開講 | | クラス編成の都合上、未開講 「和声学」は、他のクラスがあるので支障はな い(24) |
| 兼任 | 講師 | タスエ カツシ 田末 勝志 | 平成23年4月 | 合唱 | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ユビ クニコ 由比 邦子 | 平成24年4月 | 諸民族の音楽 | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | キタガワ ジュンコ 北川 純子 | 平成23年4月 | 音楽の歴史A 音楽の歴史B | 兼任 | 教授 | クロサカ トシアキ 黒坂 俊昭 | 平成24年4月 | 音楽の歴史A 音楽の歴史B | | 平成24年4月より、本人の都合により就任辞退 担当者変更(24) |
| 兼任 | 講師 | ニワ アユミ 丹羽 あゆみ | 平成24年4月 | キーボードハーモニー | | | | | 未開講 | | 在籍者数から勘案した結果、未開講 「キーボードハーモニー」は、他の兼任教員も 担当しているため支障はない(26) |
| 兼任 | 講師 | ウチオ エミ 内尾 恵美 | 平成24年4月 | キーボードハーモニー | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ヤギ リョウスケ 八木 良介 | 平成25年4月 | 楽器学 楽曲分析 | 兼任 | 准教授 | マツモト ナオユキ 松本 直祐樹 | 平成25年4月 | 楽器学 楽曲分析 | | 平成25年4月より、本人の都合により就任辞退 担当者変更(25) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | ヒガキ トモナリ 檜垣 智也 | 平成26年4月 | 楽器学 | | 所属学部等の都合により、松本直祐樹から兼 任教員へ担当者変更(26) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | タカノ ユウコ 高野 裕子 | 平成26年4月 | 楽曲分析 | | 所属学部等の都合により、松本直祐樹から兼 任教員へ担当者変更(26) |
| 兼任 | 講師 | ミヤモト セイコ 宮本 聖子 | 平成23年4月 | 音楽演習ⅠA 音楽演習ⅠB 音楽演習ⅡA 音楽演習ⅡB | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ニシモト ジュン 西本 淳 | 平成23年4月 | 音楽演習ⅠA 音楽演習ⅠB 音楽演習ⅡA 音楽演習ⅡB | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----|----|---|---------|--|--|--|--|--|--|-----|--|
| 兼任 | 講師 | シマダ アキラ 嶋田 明 | 平成23年4月 | 音楽演習 I A 音楽演習 I B 音楽演習 II A 音楽演習 II B 音楽演習 III A 音楽演習 III B 音楽演習 IV A 音楽演習 IV B 合奏 III A 合奏 III B 合奏 IV A 合奏 IV B | | | | | | 未開講 | 担当者の都合により未開講。「音楽演習」、「合奏」は、他に担当教員がいるため支障はない(26) |
| 兼任 | 講師 | ノダ コウイチ 野田 篁一 | 平成23年4月 | 音楽演習 I A 音楽演習 I B 音楽演習 II A 音楽演習 II B | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ヤマキ マサテル 矢巻 正輝 | 平成23年4月 | 音楽演習 I A 音楽演習 I B 音楽演習 II A 音楽演習 II B | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | オガタ フミノリ 緒方 文則 | 平成23年4月 | 音楽演習 I A 音楽演習 I B 音楽演習 II A 音楽演習 II B | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ナカガワ トオル 中川 亨 | 平成23年4月 | 音楽演習 I A 音楽演習 I B 音楽演習 II A 音楽演習 II B 音楽演習 III A 音楽演習 III B 音楽演習 IV A 音楽演習 IV B | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ソガベ テエコ 曾我部 千恵子 | 平成23年4月 | 音楽演習 I A 音楽演習 I B 音楽演習 II A 音楽演習 II B | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ハヤシ トシタケ 林 俊武 | 平成23年4月 | 音楽演習 I A 音楽演習 I B 音楽演習 II A 音楽演習 II B 音楽演習 III A 音楽演習 III B 音楽演習 IV A 音楽演習 IV B | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ワタナベ ユキコ 渡辺 友希子 | 平成23年4月 | 音楽演習 I A 音楽演習 I B 音楽演習 II A 音楽演習 II B 合奏 III A 合奏 III B 合奏 IV A 合奏 IV B | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | フカイ アキラ 福井 聡 | 平成23年4月 | 音楽演習 I A 音楽演習 I B 音楽演習 II A 音楽演習 II B 音楽演習 III A 音楽演習 III B 音楽演習 IV A 音楽演習 IV B 合奏 III A 合奏 III B 合奏 IV A 合奏 IV B | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ヒラオ タミノ 平尾 多美納 (ニシオカ タミノ) (西岡 多美納) | 平成23年4月 | 音楽演習 I A 音楽演習 I B 音楽演習 II A 音楽演習 II B 音楽演習 III A 音楽演習 III B 音楽演習 IV A 音楽演習 IV B 合奏 I A 合奏 I B 合奏 II A 合奏 II B | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|-----------------------|---------|---|----|----|-----------------|----------|----------------------|--------------------------------------|----------------------|--|--|--|--|--|
| 兼任 | 講師 | シャカゴオリ ヨウスケ 釈迦郡 洋介 | 平成25年4月 | 音楽演習ⅢA 音楽演習ⅢB 音楽演習ⅣA 音楽演習ⅣB | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | 平成26年4月 | 音楽演習ⅡA 音楽演習ⅡB | クラス数増加に伴い担当科目を追加(26) | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ヒラヤマ ヨシエ 平山 善恵 | 平成25年4月 | 音楽演習ⅢA 音楽演習ⅢB 音楽演習ⅣA 音楽演習ⅣB | | | | | | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | シオミ タスク 塩見 亮 | 平成25年4月 | 音楽演習ⅢA 音楽演習ⅢB 音楽演習ⅣA 音楽演習ⅣB | | | | | | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ムカイ カズヒサ 向井 和久 | 平成25年4月 | 音楽演習ⅢA 音楽演習ⅢB 音楽演習ⅣA 音楽演習ⅣB | | | | | | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | オカモト テツ 岡本 哲 | 平成25年4月 | 音楽演習ⅢA 音楽演習ⅢB 音楽演習ⅣA 音楽演習ⅣB | | | | | | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ヨシノ タツキ 吉野 竜城 | 平成25年4月 | 音楽演習ⅢA 音楽演習ⅢB 音楽演習ⅣA 音楽演習ⅣB | | | | | | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ソダ レイコ 曾田 玲子 | 平成25年4月 | 音楽演習ⅢA 音楽演習ⅢB 音楽演習ⅣA 音楽演習ⅣB | | | | | | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | マンガ カズキ 萬田 一樹 | 平成23年4月 | 歌唱法 音楽演習ⅠA 音楽演習ⅠB 音楽演習ⅡA 音楽演習ⅡB | | | | | | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ヤマダ ナツ 山田 夏 | 平成25年4月 | コンピュータミュージック基礎 コンピュータミュージック制作 | | | | | | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | タニモト ユタカ 谷本 裕 | 平成23年4月 | 音楽マネジメント・ リーダーシップ論 | | | | | | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ワカモト カツヨシ 若本 勝義 | 平成23年4月 | キャリアデザイン | | | | | | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | コドノ オリエ 神殿 織江 | 平成23年4月 | コミュニケーションと交渉術 | | | | | | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | マツダ ユウジ 松田 雄治 | 平成24年4月 | ビジネス英語A ビジネス英語B | | | | | | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | カイ タカヒロ 甲斐 隆浩 | 平成24年4月 | プレゼンテーション Webデザイン CGプログラミング | | | | | | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ムラカミ シンイチロウ 村上 心一郎 | 平成25年4月 | ビジネス中国語A ビジネス中国語B | 兼任 | 講師 | リ モンディ 李 梦迪 | 平成25年10月 | ビジネス中国語A ビジネス中国語B | 平成25年10月より、本人の都合により就任辞退 担当者変更(26) | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | タチオカ ヒロシ 立岡 浩 | 平成25年4月 | 音楽著作権 ※ | | | | | | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ナカイ ヒデノリ 中井 秀範 | 平成25年4月 | 音楽著作権 ※ | | | | | | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | フジオカ タクミ 藤岡 巧 | 平成25年4月 | 国際文化関係論 | | | | | | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | カキサキ ケイジ 柿崎 景二 | 平成25年4月 | 音響学A 音響学B | | | | | | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | テラニシ ハジメ 寺西 肇 | 平成26年4月 | 音楽出版と 広告メディア論 | | | | | | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | クドウ ヤスノリ 工藤 保則 | 平成26年4月 | マンガ・アニメ 音楽文化論 | | | | | | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ハヤシ トオル 林 徹 | 平成26年4月 | ゲーム・ミュージック文化論 | 兼任 | 講師 | オバナ タカシ 尾鼻 崇 | 平成26年4月 | ゲーム・ミュージック文化論 | 平成26年4月より、本人の都合により就任辞退 担当者変更(26) | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----|----|----------------------|---------|---|----|-----|--------------------|---------|-----------------------------|---|
| 兼任 | 講師 | カタヨセ ハルヒロ 片寄 晴弘 | 平成24年4月 | デジタル音楽基礎概論 デジタル音楽基礎特論 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | クノ カツヤ 久野 勝也 | 平成24年4月 | 録音の技術と表現 サウンド・リインフォースメント 舞台組織機構概論 | 兼任 | 講師 | カキサキ ケイジ 柿崎 景二 | 平成26年4月 | 録音の技術と表現 サウンド・リインフォースメント | 平成26年4月より、担当者変更(26) |
| 兼任 | 講師 | タカオキ ヒデアキ 高沖 秀明 | 平成26年4月 | 映像と音楽と放送 | 兼任 | 講師 | ハタ ヨシオ 畑 祥雄 | 平成26年4月 | 映像と音楽と放送 | 平成26年4月より、本人の都合により就任辞退 担当者変更(26) |
| 兼任 | 講師 | オクノ タクジ 奥野 卓司 | 平成25年4月 | 音楽とライブラリ構築 | 兼任 | 講師 | オクノ タクジ 奥野 卓司 | 平成25年4月 | 音楽とライブラリ構築 ※ | オムニバス授業に変更(25) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | ヤマモリ ヒロシ 山森 宙史 | 平成26年4月 | 音楽とライブラリ構築 ※ | 平成26年4月より、本人(奥野卓司)の都合により 就任辞退 担当者変更(26) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | タカノ ヒロカズ 鷹野 弘和 | 平成25年4月 | 音楽とライブラリ構築 ※ | オムニバス授業に変更したため担当者を追加 (25) |
| | | | | | | | | | 未開講 | 平成26年4月より、本人(鷹野弘和)の都合により 就任辞退 3名によるオムニバス授業から2名によるオム ニバス授業に変更(26) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | タニムラ カナメ 谷村 要 | 平成25年4月 | 音楽とライブラリ構築 ※ | オムニバス授業に変更したため担当者を追加 (25) |
| 兼任 | 講師 | ヒオキ コウイチロウ 日置 弘一郎 | 平成25年4月 | 音楽マーケティング論 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | デグチ タンリウ 出口 湛龍 | 平成23年4月 | 建学の精神 | 兼任 | 准教授 | ササキ タカアキ 佐々木 隆晃 | 平成23年4月 | 建学の精神 | 平成23年4月より、本務の都合により就任辞 退。 担当者変更(23) |
| 兼任 | 講師 | タムラ シオン 多村 至恩 | 平成23年4月 | 建学の精神 仏教思想と現代 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ホンダ アヤ 本多 彩 | 平成23年4月 | 建学の精神 仏教思想と現代 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ナガオカ ガクチョウ 長岡 岳澄 | 平成23年4月 | 建学の精神 | 兼任 | 講師 | ツカダ ノリヒロ 塚田 博教 | 平成23年4月 | 建学の精神 | 平成23年4月より、本人の都合により就任辞 退。 担当者変更(23) |
| 兼任 | 講師 | ノリヤマ サトル 兼山 悟 | 平成24年4月 | 仏教思想と現代 | 兼任 | 講師 | ノリヤマ サトル 兼山 悟 | 平成23年4月 | 建学の精神 仏教思想と現代 | クラス数増加に伴い担当科目を追加(23) |
| 兼任 | 講師 | チタニ キミカズ 智谷 公和 | 平成24年4月 | 仏教思想と現代 | | | | 平成25年4月 | 仏教思想と現代 | クラス編成の都合上、未開講。 「仏教思想と現代」は、他のクラスがあるので支 障はない(24) |
| | | | | | | | | 平成24年4月 | 建学の精神 | クラス数増加に伴い担当科目を追加(24) |
| 兼任 | 講師 | イケヤマ セツロウ 池山 説郎 | 平成23年4月 | 科学と人間 科学史入門 | | | | | | 平成26年度入学生から、基礎科目の改定に伴 い「科学と人間」は廃止/ただし、平成25年度以 前の入学生は、従前通り開講(26) |
| 兼任 | 講師 | ホンダ マコト 本多 真 | 平成24年4月 | 環境と人間 | | | | | | 平成26年度入学生から、基礎科目の改定に伴 い「環境と人間」は廃止/ただし、平成25年度以 前の入学生は、従前通り開講(26) |
| 兼任 | 講師 | クワバラ ヒデユキ 桑原 英之 | 平成24年4月 | 生命と人間 | | | | | | 平成26年度入学生から、基礎科目の改定に伴 い「生命と人間」は廃止/ただし、平成25年度以 前の入学生は、従前通り開講(26) |
| 兼任 | 講師 | タナカ フジオ 田中 不二夫 | 平成23年4月 | 西洋文化史 美学 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ニシオ ヤスヒロ 西尾 泰広 | 平成23年4月 | 日本歴史入門 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | オオニシ リクコ 大西 陸子 | 平成24年4月 | 世界歴史入門 | | | | | 未開講 | 同科目区分の開講数を勘案した結果、平成26 年度は未開講(26) |
| 兼任 | 講師 | セキグチ ヤスユキ 関口 靖之 | 平成23年4月 | 地理学入門(地誌を含む) | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----|----|----------------------|---------|----------------------------------|----|----|--------------------|----------|-----------|---|--|
| 兼任 | 講師 | タナカ ヨシコ 田中 美子 | 平成23年4月 | 倫理学入門 | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | スギモト ヨシオ 杉本 良雄 | 平成23年4月 | 経済学入門 | 兼任 | 教授 | カタオカ タダシ 片岡 尹 | 平成25年4月 | 経済学入門 | 所属学部等の都合により担当者変更(25) | |
| 兼任 | 講師 | スガ ルミコ 菅 るみこ | 平成24年4月 | 経営学入門 | | | スガ マキコ 菅 万希子 | | | 改姓(24) | |
| | | | | | 兼任 | 講師 | イケダ ヒロシ 池田 浩 | 平成25年4月 | 経営学入門 | 所属学部等の都合により担当者変更(25) | |
| | | | | | 兼任 | 講師 | ミヤザキ タカマサ 宮崎 崇将 | 平成25年4月 | マーケティング入門 | 所属学部等の都合により担当者変更(25) | |
| | | | | | | | | | 未開講 | 同科目区分の開講数を勘案した結果、平成26年度「マーケティング入門」は未開講(26) | |
| 兼任 | 講師 | オオタニ シンタロウ 大谷 新太郎 | 平成24年4月 | 観光学入門 | | | | | 未開講 | 隔年開講科目のため、今年度は未開講(25) | |
| | | | | | 兼任 | 講師 | サキモト タケシ 崎本 武志 | 平成26年4月 | 観光学入門 | 平成26年度は、担当者を変更して当初の計画通り通常開講(26) | |
| 兼任 | 講師 | ヤマザキ ミツヒコ 山崎 充彦 | 平成23年4月 | 政治学入門 | 兼任 | 講師 | ツネモト ハジメ 常本 一 | 平成23年10月 | 政治学入門 | 平成23年10月より、都合により担当者変更(24) | |
| | | | | | | | | | 未開講 | 平成25年4月より、本務の都合で就任辞退今年度は、未開講他の選択科目があるので支障はない(25) | |
| 兼任 | 講師 | オオヤ ヨシユキ 大矢 吉之 | 平成26年4月 | 政治学入門 | 兼任 | 講師 | オオヤ ヨシユキ 大矢 吉之 | 平成26年4月 | 政治学入門 | 平成26年度は、担当者を変更して当初の計画通り通常開講(26) | |
| 兼任 | 講師 | ムカイ タダシ 向井 正 | 平成23年4月 | 数学入門 地球と宇宙 | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ハラダ ナルヒコ 原田 匠彦 | 平成23年4月 | 化学入門 | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ヨシナリ サトン 吉成 哲史 | 平成23年4月 | 生物学入門 情報処理演習 | 兼任 | 講師 | オオタ カズタカ 太田 和孝 | 平成24年4月 | 生物学入門 | 平成24年4月より、本人の都合により就任辞退担当者変更(24) | |
| | | | | | | | | | 未開講 | 平成24年4月より、本人の都合により就任辞退「情報処理演習」は、他に担当教員がいるため支障はないので未開講(24) | |
| 兼任 | 講師 | ナカガワ マナブ 中川 学 | 平成24年4月 | 現代と医学 | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ヤノ トモコ 矢野 朋子 | 平成23年4月 | 看護介護入門 | 兼任 | 講師 | マエダ テエコ 前田 智恵子 | 平成24年4月 | 看護介護入門 | 平成24年4月より、本人の都合により就任辞退担当者変更(24) | |
| 兼任 | 講師 | オカモト カヨコ 岡本 香代子 | 平成24年4月 | 健康科学 | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | オクノ マサミチ 奥野 暢通 | 平成23年4月 | 健康科学 健康とスポーツ実習 生涯健康とスポーツ実習 | | | | | | 未開講 | クラス編成の都合上、未開講「健康科学」は、他のクラスがあるので支障はない(24) |
| | | | | | | | | | | | 未開講 |
| 兼任 | 講師 | ミナトノ エミ 港野 恵美 | 平成23年4月 | 健康とスポーツ実習 生涯健康とスポーツ実習 | | | | | | 未開講 | クラス編成の都合上、平成23年4月より未開講「健康とスポーツ実習」「生涯健康とスポーツ実習」は、他に担当教員がいるため支障はない(23) |
| | | | | | | | | | | | 未開講 |

| | | | | | | | | | | | |
|----|----|-----------------------------|---------|--------------------------|----|----|---------------------|----------|--------------------------|--|---|
| 兼任 | 講師 | オチ ユウコウ 越智 祐光 | 平成23年4月 | 健康とスポーツ実習 生涯健康とスポーツ実習 | 兼任 | 講師 | シバヤマ ケイ 柴山 慧 | 平成23年4月 | 健康とスポーツ実習 生涯健康とスポーツ実習 | 平成23年4月より、本人の都合により就任辞退 担当者変更(23) | |
| | | | | | 兼任 | 講師 | シバヤマ ケイ 柴山 慧 | 平成24年4月 | 健康とスポーツ実習 | 「生涯健康とスポーツ実習」は、クラス編成の都合上、未開講 「生涯健康とスポーツ実習」は、他のクラスがあるので支障はない(24) | |
| | | | | | | | | | 未開講 | クラス編成の都合上、未開講 「健康とスポーツ実習」は、他のクラスがあるので支障はない(26) | |
| 兼任 | 講師 | アズマ タカシ 東 隆史 | 平成23年4月 | 健康とスポーツ実習 生涯健康とスポーツ実習 | 兼任 | 講師 | オカモト カヨコ 岡本 香代子 | 平成23年10月 | 健康とスポーツ実習 生涯健康とスポーツ実習 | 平成23年10月より、本人の都合により就任辞退 担当者変更(24) | |
| | | | | | | | | | 未開講 | クラス編成の都合上、「生涯健康とスポーツ実習」は、未開講 「生涯健康とスポーツ実習」は、他のクラスがあるので支障はない(26) | |
| 兼任 | 講師 | サトウ ミヅコ 佐藤 光子 | 平成23年4月 | 健康とスポーツ実習 生涯健康とスポーツ実習 | | | | | 未開講 | 平成24年4月より、本人の都合により就任辞退 「健康とスポーツ実習」、「生涯健康とスポーツ実習」は、他に担当教員がいるため支障はないので未開講(24) | |
| 兼任 | 講師 | シモジ シンヤ 下地 信也 | 平成23年4月 | キャリアデザイン論 キャリアデザイン演習 | 兼任 | 教授 | ヤマシタ ノボル 山下 昇 | 平成26年4月 | キャリアデザイン論 キャリアデザイン演習 | 所属学部等の都合により担当者変更(26) | |
| 兼任 | 講師 | オカモト クニコ 岡本 久仁子 | 平成23年4月 | 情報処理演習 | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | オカダ ユタカ 岡田 裕 | 平成23年4月 | 情報処理演習 情報と社会 | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ナカジマ キンヤ 中島 欣哉 | 平成23年4月 | 情報処理演習 | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ハヤシ ミエコ 林 美恵子 | 平成23年4月 | 情報処理演習 | | | | | 未開講 | クラス編成の都合上、未開講 「情報処理演習」は、他のクラスがあるので支障はない(26) | |
| 兼任 | 講師 | ハギワラ マサヤ 萩原 雅也 | 平成23年4月 | 生涯学習概論 | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ヒラマツ カツイチ 平松 克一 | 平成23年4月 | 図書及び図書館史 | | | | | | 未開講 | 司書課程科目を一部変更した結果、「図書・図書館史」に名称変更し資格課程科目に移行したため、「図書及び図書館史」は未開講(24) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | ヤマモト ジュンイチ 山本 順一 | 平成24年4月 | 図書館概論 | 平成24年度から司書課程科目を一部変更した結果、科目を追加(24) | |
| | | | | | 兼任 | 教授 | キタ カツイチ 北 克一 | 平成25年4月 | 図書館概論 | 平成25年4月より、専任を採用したため担当者変更(25) | |
| 兼任 | 講師 | ナワ ツキノスケ 名和 月之介 | 平成24年4月 | ボランティア論 ボランティア体験 | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | トミオカ ミチコ 富岡 美知子 | 平成24年4月 | 異文化間教育論 | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ナカオ シホウ 中尾 史峰 | 平成24年4月 | 宗門法規 | 兼任 | 講師 | ハヤシ ハルオ 林 春男 | 平成24年4月 | 宗門法規 | 平成24年4月より、本人の都合により就任辞退 担当者変更(24) | |
| 兼任 | 講師 | カドノ ヒロアキ 葛野 洋明 | 平成24年4月 | 布教法 | 兼任 | 講師 | タケモト リョウゴ 竹本 了悟 | 平成25年4月 | 布教法 | 平成25年4月より、本人の都合により就任辞退 担当者変更(25) | |
| 兼任 | 講師 | タカハシ アキト 高橋 昭人 | 平成24年4月 | 動式作法 | | | | | | 未開講 | 同科目区分の開講数を勘案した結果、平成24年度は未開講(24) |
| | | | | | | | | 平成25年4月 | 動式作法 | 通常開講(25) | |
| 兼任 | 講師 | ヨハン E アルスドルフ J.E.Alsdorf | 平成23年4月 | 英会話 I 英会話 II | 兼任 | 講師 | | | | 身分が、兼任から兼任に変更(26) | |
| 兼任 | 講師 | モリカワ ヤスコ 森川 康子 | 平成23年4月 | 英会話 I 英会話 II | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----|----|-------------------------------|---------|---|----|-----|-------------------------------|----------|------------------------|--|---|
| 兼任 | 講師 | マイケル C ルイス Michael.C.Lewis | 平成23年4月 | 英会話 I 英会話 II 英会話 III 英会話 IV | 兼任 | 講師 | ヨハン E アルスドルフ J.E.Alsdorf | 平成25年4月 | 英会話 III 英会話 IV | 所属学部等の都合により担当者変更(25) | |
| | | | | | 兼任 | 講師 | マイケル C ルイス Michael.C.Lewis | 平成26年4月 | 英会話 III 英会話 IV | 平成26年度は、当初の計画通り担当(26) | |
| 兼任 | 講師 | クボ キミヒト 久保 公人 | 平成23年4月 | 英語 I 英語 II | | | | | 未開講 | クラス編成の都合上、平成25年4月より未開講。「英語 I」「英語 II」は、他に担当者がいるため支障はない。(25) | |
| 兼任 | 講師 | ナカジマ ヒロコ 中島 寛子 | 平成23年4月 | 英語 I 英語 II 資格英語 II A 資格英語 II B | 兼任 | 講師 | イサカイ ヤスミ 飯盛 康史 | 平成25年10月 | 英語 I 英語 II | 平成25年10月より、本人の都合により就任辞退担当者変更(26) | |
| | | | | | 兼任 | 准教授 | イサカワ レイコ 石川 玲子 | 平成26年4月 | 資格英語 II A 資格英語 II B | 平成26年4月より、本人の都合により就任辞退担当者変更(26) | |
| 兼任 | 講師 | ニシガキ ユカ 西垣 有夏 | 平成23年4月 | 英語 I 英語 II | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ノグチ マサコ 野口 昌子 | 平成23年4月 | 英語 I 英語 II 資格英語 I A 資格英語 I B | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | マツモト サオリ 松本 沙織 | 平成23年4月 | 英語 I 英語 II | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | シマモト ケイタ 嶋本 慶太 | 平成23年4月 | ドイツ語 I ドイツ語 II | | | | | | 未開講 | 平成25年4月より、本人の都合により就任辞退「ドイツ語 I」、「ドイツ語 II」は、他に担当者がいるため支障はない(25) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | ツチヤ キョウコ 土屋 京子 | 平成26年4月 | ドイツ語 I ドイツ語 II | 平成26年度は、担当者を変更して当初の計画通り通常開講(26) | |
| 兼任 | 講師 | タジマ アキヒロ 田島 昭洋 | 平成23年4月 | ドイツ語 I ドイツ語 II | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | コマツ マサミチ 小松 正道 | 平成23年4月 | フランス語 I フランス語 II | | | | | | 未開講 | 平成25年4月より、本人の都合により就任辞退「フランス語 I」、「フランス語 II」は、他に担当者がいるため支障はない(25) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | ササキ コウタ 佐々木 幸太 | 平成26年4月 | フランス語 I フランス語 II | 平成26年度は、担当者を変更して当初の計画通り通常開講(26) | |
| 兼任 | 講師 | コマツ ヒロアキ 小松 寛明 | 平成23年4月 | イタリア語 I イタリア語 II | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ケヤキダニ ユキコ 櫛谷 由紀子 | 平成23年4月 | イタリア語 I イタリア語 II | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | タナカ ヨウコ 田中 洋子 | 平成23年4月 | 中国語 I 中国語 II | | | | | | | |
| | | | | | 兼任 | 講師 | スズキ ケイゴ 鈴木 敬吾 | 平成23年4月 | 大学生のための日本語入門 | クラス数増加に伴い担当者を追加(23) | |
| | | | | | | | | | | 未開講 | 「大学生のための日本語入門」は、所属学部等の都合により未開講(25) |
| | | | | | | | | 平成25年4月 | 日本語表現法 | 所属学部等の都合により担当者追加(25) | |
| | | | | | | | | 平成26年4月 | 文章表現 | 平成26年度入学生から、基礎科目の改定に伴い名称変更/ただし、平成25年度以前の入学生は、従前通りの名称(26) | |
| | | | | | 兼任 | 講師 | マツバラ マコト 松原 真 | 平成24年4月 | 日本語表現法 | クラス数増加に伴い担当科目を追加(24) | |
| | | | | | | | | | | 未開講 | クラス編成の都合上、未開講「日本語表現法」は、他のクラスがあるので支障はない(26) |
| | | | | | | | | 平成25年4月 | 大学生のための日本語入門 | 所属学部等の都合により担当者追加(25) | |
| | | | | | | | | | | 未開講 | クラス編成の都合上、未開講「大学生のための日本語入門」は、他のクラスがあるので支障はない(26) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | オウ カズミ 翁 和美 | 平成24年4月 | 社会学概説 | クラス数増加に伴い担当科目を追加(24) | |
| | | | | | | | | | | 未開講 | クラス編成の都合上、「社会学概説」は未開講「社会学概説」は、他のクラスがあるので支障はない(25) |

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--------|--|---------|---------------------|--|
| | | | | | 兼任 講師 | コンドウ キンイチ 近藤 欣一 | 平成24年4月 | 人権教育 | クラス数増加に伴い担当科目を追加(24) |
| | | | | | 兼任 講師 | クラモト カオリ 倉本 香 | 平成23年4月 | 教育原論 | クラス数増加に伴い担当者を追加(23) |
| | | | | | | | | 未開講 | クラス編成の都合上、「教育原論」は未開講 「教育原論」は、他のクラスがあるので支障 はない(25) |
| | | | | | 兼任 講師 | ヤマモト カオリ 山本 香理 | 平成23年4月 | フランス語 I フランス語 II | クラス数増加に伴い担当者を追加(23) |
| | | | | | | ササキ カオリ 佐々木 香理 | | | 改姓(25) |
| | | | | | | | | 未開講 | クラス編成の都合上、未開講 「フランス語 I、II」は、他のクラスがあるので 支障はない(26) |
| | | | | | 兼任 講師 | リ ネイ 李 寧 | 平成23年4月 | 中国語 I 中国語 II | クラス数増加に伴い担当者を追加(23) |
| | | | | | | | | 未開講 | クラス編成の都合上、未開講 「中国語 I、II」は、他のクラスがあるので支障 はない(26) |
| | | | | | 兼任 准教授 | ナオバヤシ フタイ 直林 不退 (ナオバヤシ シュウイチ) (直林 修一) | 平成24年4月 | 大学生のための日本語入門 | クラス数増加に伴い担当者を追加(24) |
| | | | | | 教授 | | | | 平成25年4月1日より職位変更(25) |
| | | | | | 兼任 講師 | マシュー アイアナロン Matthew Iannarone | 平成23年4月 | 英会話 I 英会話 II | クラス数増加に伴い担当者を追加(23) |
| | | | | | 兼任 講師 | アンドリュー リーガル Andrew Regal | 平成24年4月 | 英会話 I 英会話 II | 平成24年4月より、本人の都合により就任辞退 担当者変更(24) |
| | | | | | 兼任 講師 | ポール・ジョーゲンセン Paul Jorgenson | 平成25年4月 | 英会話 I 英会話 II | 平成25年4月より、本人の都合により就任辞退 担当者変更(25) |
| | | | | | 兼任 講師 | アンドリュー リーガル Andrew Regal | 平成26年4月 | 英会話 I 英会話 II | 平成26年4月より、本人(Paul Jorgenson)の都合 により就任辞退 担当者変更(26) |
| | | | | | 兼任 講師 | ジョナサン ボーンホフ Jonathan Bomhoff | 平成23年4月 | 英会話 I 英会話 II | クラス数増加に伴い担当者を追加(23) |
| | | | | | 兼任 講師 | トーマス ウォーカー Thomas Walker | 平成24年4月 | 英会話 I 英会話 II | 平成24年4月より、本人の都合により就任辞退 担当者変更(24) |
| | | | | | 兼任 講師 | アンドリュー・カツシカス Andrew Katsikas | 平成25年4月 | 英会話 I 英会話 II | 平成25年4月より、本人の都合により就任辞退 担当者変更(25) |
| | | | | | 兼任 講師 | カール・プライス Karl Price | 平成26年4月 | 英会話 I 英会話 II | 平成26年4月より、本人(Andrew Katsikas)の 都合により就任辞退 担当者変更(26) |
| | | | | | 兼任 講師 | ジェイソン ブラック Jason Black | 平成23年4月 | 英会話 I 英会話 II | クラス数増加に伴い担当者を追加(23) |
| | | | | | 兼任 講師 | ケビン ベレンズ Kevin Behrens | 平成24年4月 | 英会話 I 英会話 II | 平成24年4月より、本人の都合により就任辞退 担当者変更(24) |
| | | | | | 兼任 講師 | ジェイ・レイミー Jay Ramey | 平成25年4月 | 英会話 I 英会話 II | 平成25年4月より、本人の都合により就任辞退 担当者変更(25) |
| | | | | | 兼任 講師 | ケビン ベレンズ Kevin Behrens | 平成26年4月 | 英会話 I 英会話 II | 平成26年4月より、本人(Jay Ramey)の都合に より就任辞退 担当者変更(26) |
| | | | | | 兼任 教授 | ナカムラ ケイジ 中村 圭爾 | 平成26年4月 | 大学と地域社会 | 平成26年度入学生からの新設科目 兼任教員が担当(26) |

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

| 設置時の計画 | | | | | 変更状況 | | | | | 年齢構成 | |
|--------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|---------|---------|--------------|
| 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計 | 教員の定年年齢 | 定年を延長している教員数 |
| 6 | 2 | 1 | 0 | 9 | 4 | 2 | 1 | 0 | 7 | 68 | 0 |
| (5) | (2) | (1) | (0) | (8) | [Δ 2] | [0] | [0] | [0] | [Δ 2] | 歳 | 名 |

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

| 番号 | 職位 | 専任教員氏名 | 辞任(就任辞退を含む)等の理由 |
|----|----|--------|--|
| 1 | 教授 | 安井 敏雄 | 当人は、相愛大学音楽学部音楽学科に平成22年度より勤務しており、今回の学科設置にあたり音楽マネジメント学科の教授として平成23年度に就任した。しかし、一身上の理由から平成25年8月末をもって、本学を退職したい旨の願い出があった。 |
| 2 | 教授 | 大岩 元 | 当人は、今回の学科設置にあたり音楽マネジメント学科の教授として平成23年度に就任した。しかし、都合により平成26年3月末をもって、本学を退職することになった。 |

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任(就任辞退を含む)等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

| |
|---|
| <p>学科設置にあたり、その計画に関与し、平成23年度に専任教授として就任した安井敏雄教授の突然の辞意表明は、誠に遺憾ではあったが、一身上の理由による本人の辞意は固く、平成25年8月末での退職を認めた。また、学科設置時に本学へ専任教授として就任した大岩元教授ではあったが、都合により平成26年3月末をもって、本学を退職することになった。</p> <p>平成26年度については、学生数も考慮した上で、他の専任教員と兼任教員で対応することとしたが、平成27年度以降は、教員配置のあり方を再度慎重に検討し、授業運営等々支障がないよう対応する。</p> <p>なお、学生には、新年度ガイダンス等を通じて詳細説明をしている。</p> |
|---|

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

| 区 分 | 留 意 事 項 | 履 行 状 況 | 未履行事項について の実施計画 |
|--------------------------------|---|---|--------------------|
| 設 置 時 | 該当なし | | |
| 設置計画履行状況 調 査 時 (平成23年2月) | 該当なし | | |
| 設置計画履行状況 調 査 時 (平成24年2月) | <p>人文学部仏教文化学科、文化交流学科、日本文化学科、音楽学部音楽マネジメント学科、人間発達学部発達栄養学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> | <p>人文学部の3学科（仏教文化学科、文化交流学科、日本文化学科）は、平成24年度の入学生も定員を大きく割り込んだ。そのため、平成23年度に設置した仏教文化学科、文化交流学科に、日本文化学科を含めた既存の3学科を1学科（人文学科）に改編すべく検討を重ね、平成23年4月25日に文部科学省大学設置室に設置届出を行った。</p> <p>音楽学部音楽マネジメント学科は、在学生と共に出身校である高校への訪問強化、学生募集対策のための学生主体のイベントの実施、提携校との連携の一環として提携校生徒のオープンキャンパスへの参加等、学科独自の「出口・入口委員会」を中心に検討を加えている。</p> <p>人間発達学部発達栄養学科は、管理栄養士国家試験の合格率の低迷が要因の一つと考えられるが、年々合格率は上向き傾向にあり、学科における国家試験対策委員会を中心として、更なる合格率アップのための方策を図っているところである。また、本学の特徴であるエクステンション事業、ボランティア活動等をさらにピーアールし、認知度を高めるべく努めているところである。</p> <p>平成23年3月に策定した「相愛大学将来構想」において、学生確保の対策として、IRの強化を掲げている。学内外においてのデータの収集、分析を行い、データを基にした重要高校の位置づけ、提携高校の選定、更には、広報活動の工夫と強化など、学生募集への対策を行っているところである。また、各学科とも、オープンキャンパスへの参加者の入学率が高いことから、オープンキャンパスへの参加促進を第一に掲げ、入試課を中心に、各学部・学科との連携を密にして、募集対策にあっている。</p> | |

| 区 分 | 留 意 事 項 | 履 行 状 況 | 未履行事項について の実施計画 |
|--------------------------------|---|--|--------------------|
| 設置計画履行状況 調 査 時 (平成25年2月) | <p>人文学部仏教文化学科、文化交流学科、日本文化学科、音楽学部音楽マネジメント学科、人間発達学部発達栄養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> | <p>平成25年度当初から、留意事項を付された学科のみならず、すべての学科における学生募集対策について、執行部会議、入試委員会、学部教授会、学科会等で検討を重ねた。高校訪問の見直し、オープンキャンパスへの参加促進を全学の共通認識とし、各学部・学科において個別の対策を講じることとした。</p> <p>音楽学部音楽マネジメント学科は、学科会に於いて、引き続き、在学生と共に出身校である高校への訪問を強化する他、高校の吹奏楽部への訪問を行い、音楽に興味を持つ生徒の掘り出しに努めること、訪問する高校では、学科の内容の説明を行うだけでなく、機会に応じて関連する講義を行うこと、学科独自のホームページを立ち上げ、在学生が高校生に近い目線で学科紹介のコンテンツを作成し、一般に認知度の高くない名称の学科の内容を分かりやすく説明すること、とした共通認識の下で募集活動を行い、さらに、学科内でこうした募集活動での情報共有を図るため、毎週「進捗会議」を開き、「週報」を作成することで意識確認を行った。</p> <p>人間発達学部発達栄養学科は、入学者数の増加に向けて、社会貢献・地域連携によるエクステンション事業の充実により実践的教育力を養い、その存在をアピールすることで学生募集へと繋げていくこと、また、管理栄養士国家試験の合格率アップを最重要課題に据え、全教員による学力向上強化対策講座の通年実施を行うほか、国試対策演習室を充実させ、学生の能動的な学修支援を行うことで合格率アップを目指し、ひいては、入学生確保へと繋げていくこととした。</p> <p>人文学部の3学科（仏教文化学科、文化交流学科、日本文化学科）は、定員に示す入学者を確保することが困難となり、平成23年度に設置した仏教文化学科、文化交流学科の2学科に、日本文化学科を含めた既存の3学科を1学科に改編すべく、平成24年4月に文部科学省大学設置室に設置届出を行い、人文学科（定員90名）として、平成25年4月に開設を行った。</p> | |

| 区 分 | 留 意 事 項 | 履 行 状 況 | 未 履 行 事 項 に つ い て の 実 施 計 画 |
|--------------------------------|--|--|--------------------------------|
| 設置計画履行状況 調 査 時 (平成26年2月) | <p>音楽学部音楽マネジメント学科、音楽学科、人間発達学部発達栄養学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> | <p>年度当初から、留意事項を付された学科のみならず、すべての学部・学科での学生募集に関する対策について、執行部会議、入試委員会、学部教授会、学科会等で、収集したデータを分析することによって検討を重ね、「相愛大学将来構想」においても言及している重要高校の位置づけや提携高校（指定校）等の選定、オープンキャンパスへの参加促進等の学生募集戦略を全学の共通認識とし、各学部・学科において個別の対策を講じることとした。平成26年度の事業計画の中に、各学部・学科における個別の学生募集戦略に関する事項を設け、教職員を含めた学内外への周知を図っている。</p> <p>特に、留意事項として挙げられている3学科に対しての改善状況は、以下のとおりである。</p> <p>音楽学部音楽マネジメント学科では、学科会において、各教員が高校訪問した際の報告を随時行うとともに、訪問校の生徒の進路状況を確認するなど、募集活動での情報共有を図り、さらに、高校内での模擬授業や、進学説明会へも積極的に参加し、一般に認知度の高くない名称の学科の内容を分かりやすく説明するなど、各構成員が共通認識の下で募集活動を行うことを徹底した。また、他学科の教員が高校訪問する際にも、同学科の説明を的確に行えるよう、学生による実践を通じた活動の成果を紹介するリーフレットを作成し、募集活動の強化を図った。平成26年度は本学科の完成年度であるが、これまでの入学者数の数値に鑑み、適正な入学定員の設定について、学科会、学部主任会等で検討中である。</p> <p>音楽学部音楽学科においては、過去4年の入学定員超過率が0.68と低迷していること、本学のみならず他大学等においてもいえることであるがピアノ部門および声楽部門の志願者数が減少していること、また、演奏系以外の部門（作曲・音楽学・音楽療法）についても入学者の確保に苦慮しておりこれらの部門の志願者数もここ5年の間で40%に減少していること等を勘案し、平成26年度からの入学定員を120名から100名に減じ、文部科学省への学則変更の届出を平成25年5月17日付で行った。平成25年度においては、管打楽器部門の入学者の増大を図るべく、高等学校等での吹奏楽レッスンを実施するなど、高大連携事業への取り組みを強化した。</p> | |

| 区 分 | 留 意 事 項 | 履 行 状 況 | 未履行事項について の実施計画 |
|-----|---|---|--------------------|
| | | <p>人間発達学部発達栄養学科においても、過去4年の入学定員超過率が0.60と低迷しているが、これは学科設置以降、本学科と同様の管理栄養士養成課程を有する学部・学科の増加、管理栄養士国家試験の合格率の伸び悩みといったことが原因として考えられる。本学と競合する大阪府下の私立大学における管理栄養士養成課程を有する大学の各入学定員は、80名（6校）もしくは70名（1校）としていること等も勘案し、平成26年度からの入学定員を100名から80名に減じ、文部科学省への学則変更の届出を平成25年5月17日付で行った。定員減により、過密であった時間割の編成がしやすくなり、同学科の特色である地域貢献や産学官連携事業を展開するための事前事後指導を含めた活動時間を確保できることで、実践を通じた「食育」を究め、社会で幅広く活躍できる人材育成と一層の教育体制の充実が図られ、ひいては学生確保につながると考えている。</p> | |
| | <p>音楽学部音楽マネジメント学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p> | <p>新学部・新学科等の設置に際して、完成年次までに定年年齢を超える教員を採用する場合の「相愛大学特別契約教員規程」に沿って採用された教員が2名いるが、学科完成後に退職し、その補充に関しては、学科全体のバランスを考慮に入れ、適正な年齢の教員を配置する計画を立てていたところである。しかし、完成年度を待たずして、平成25年度中にこの2名が急遽退職することになった。これにより、平成26年4月には、60歳代1名（教授1名）、50歳代3名（教授3名）、40歳代2名（准教授2名）、30歳代1名（講師1名）の計7名となった。本学科の設置基準における教員数は7名であり、構成教員数における設置基準に抵触することはないと考えるが、学科完成後のカリキュラムの見直しと、学科での主要科目を担当する教員の配置等を考慮し、退職した2名の教員の補充について、慎重に検討し対処することとしている。</p> | |

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<音楽学部 音楽マネジメント学科>

(1) 設置計画変更事項等

| 認可時の計画 | 変更内容・状況, 今後の見通しなど |
|--------|-------------------|
| 該当なし | 該当なし |

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成20年度より、全学的なFD委員会が設置されている。
 （別紙1：相愛大学FD委員会規程）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成25年度は、計6回（5/16、7/11、9/26、11/28、1/30、2/27）委員会が開催された。
 委員の構成は、副学長、自己点検副委員長、教学部長、各学部より選出された自己点検委員1名、共通教育センター選出の自己点検委員1名、教学事務部長、学生事務部長、その他学長が必要と認めた者若干名。（平成25年度の委員構成は、教員6名と職員2名）

c 委員会の審議事項等

- ・各施策の実施について
- ・授業評価アンケートについて
- ・授業公開（見学）について
- ・授業評価アンケートの結果分析について
- ・FD研修会の実施について

② 実施状況

a 実施内容

- ・授業評価アンケート
- ・教員相互の授業参観
- ・シンポジウム形式によるFD研修会
- ・外部講師によるFD研修会
- ・体験型のFD研修会

b 実施方法

- ・授業評価アンケートの実施
 講義期間内に実施し、教員に結果をフィードバックし、それについての教員の意見及び改善が必要な場合の改善方策を提出させることで、早急な授業改善に繋げている。
 結果についても、ポータルサイトにおいて教職員・学生に向けて公開している。

- ・教員相互の授業参観
参加の機会を増やすために、原則として全授業公開としてして実施した。
終了後、授業の内容、教授方法等についての、参観者からのコメントを、「FD授業見学コメント集」として冊子を作成するとともに、授業改善に繋げている。
- ・シンポジウム形式によるFD研修会
学生の実態を把握するとともに、各パネリスト（教員・事務職員）から、課題や意見、問題提起がなされ、意見交換を実施。
- ・外部講師によるFD研修会
外部から招聘した適任者による講演会を実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・授業評価アンケートの実施
年1回実施（全教員ひとり1科目を対象として実施。実施時期：12月2日～14日）
- ・教員相互の授業参観
年1回実施（11月11日から11月23日の間／専任教員の授業はすべて公開。）
- ・シンポジウム形式によるFD研修会
2011年度 「相愛大学のFD活動の現状と課題－何が達成されたのか、何がさらに求められているのか－」（2012年2月15日開催）
2012年度 「基礎学力テスト結果が示す相愛大生の現状とそれへの対策」（2012年6月28日開催）
2013年度 「各学部における新しい授業方法の試み」（2014年2月19日開催）
- ・外部講師によるFD研修会
研修会は2008年度から実施しており、各年度の開催内容は次の通り。（各回の参加者は、40～90名）
2008年度 「大学全入時代の学生の傾向と対策」（2009年2月19日開催）
2009年度 「学生の基礎学力をどう育成するか」（2010年2月22日開催）
2010年度 「授業を通して学生の社会人基礎力をどう育成するか」（2011年2月16日開催）
2011年度 「学生中心・学習重視の大学へアウトカムを重視した質保証システムの構築」（2011年6月16日開催）
2011年度 「関西国際大学におけるアクティブ・ラーニングと学生メンター」（2011年10月24日開催）
2012年度 「立命館大学における教学IR－教育改善とIRのリンケージ」（2012年11月2日開催）
2013年度 「『大学生基礎力調査I』から考える本学1年生の現状と課題」（2013年8月1日開催）
2013年度 「学力向上に向けて必要な教育改革と教職員の意識」（2013年9月26日開催）
- ・体験型のFD研修会
「学生時代にもどって、主体的学修を体験してみよう！－「ALPS」初公開－」（2013年2月20日開催）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・授業評価アンケートの結果を受けて、各教員に結果に対するコメント、改善の方法などを記述してもらい、並行して委員会において分析し取りまとめたものを、冊子にして刊行・配布すると共に、ポータルサイトに公開を行っている。FD委員会や各学部等において、改善の方途を集团的に検討している。
- ・教員相互の授業参観については、授業公開終了後に今後の改善に資するよう、担当者を含めた検討会を開いている。また、「FD授業見学コメント集」を作成し、改善につなげている。
- ・FD研修会については、終了後、参加者からコメントを求め、「FD研修会コメント集」として冊子を作成し、今後の教育改革に繋げている。
- ・全学的な取り組みについては一定の方式が定着し、積み上げられてきており、授業改善に効果が見られつつある。さらに継続的に検証を加え、また綿密化を図りながら、組織全体に行き渡らせるために、各学部でのFD活動を活発化させていきたい。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施時期：12月2日～12月14日

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・授業評価アンケートの結果を受けて、各教員に結果に対するコメント、改善の方法などを記述してもらい、並行して委員会において分析し取りまとめたものを、冊子にして刊行・配布すると共に、ポータルサイトに公開を行っている（教員・学生共に閲覧が可能）。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
(別紙2)
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表(予定)時期
 - ・「響流(こうる)第4号」 平成22年7月公表
 - b 公表方法
 - ・自己点検・評価報告書「響流(こうる)」を刊行し、教職員および関係諸機関に配布
 - ・刊行後、大学ホームページ上に公開
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成21年3月に評価機関(大学基準協会)の評価を受け「保留」と判定された後、平成23年6月に再評価の改善報告書を提出した結果、「適合」と判定された。(認定期間：平成24年4月～平成28年3月まで)
 - 平成27年度に次の認証評価の受審を行う。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
 - a ホームページに公表の有無 (有) ・ (無)
 - b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成26年 7月 末日)

相愛大学 FD 委員会規程

(設置)

第1条 相愛大学（以下「本学」という。）に FD 委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第2条 本学教員の教育研究活動の向上と能力開発に関して恒常的に検討を行い、その質的充実を図ることを目的として、FD に関わる事項を審議する。

(所管)

第3条 委員会は以下の事項を所管する。

- (1) FD の企画・立案に関すること
- (2) FD の実施計画と運営に関すること
- (3) FD 活動に関わる情報の収集と提供
- (4) FD に関する広報活動
- (5) その他 FD に関する事項

(構成)

第4条 委員会は次の者をもって構成する。

- (1) 副学長
- (2) 自己点検副委員長
- (3) 教学部長
- (4) 各学部より選出された自己点検委員 1 名
- (5) 共通教育センター選出の自己点検委員 1 名
- (6) 教学事務部長
- (7) 学生事務部長
- (8) その他学長が必要と認めた者若干名

(委員長)

第5条 委員会を統括するために委員長を置く。

- 2 委員長は委員の中から学長が任命する。
- 3 委員長の任期は 2 年とし、再任を妨げない。
- 4 委員長は必要に応じて委員会を招集し、議長となる。

(任期)

第6条 前々条の委員の任期は次の通りとする。

- (1) 前々条第 1 号、2 号、3 号、6 号、7 号の委員の任期はその在任中とする。
- (2) 前々条第 4 号、5 号、8 号の委員の任期は 1 年とし、再任を妨げない。

(事務の所管)

第7条 委員会の事務は教学課が所管する。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は大学評議会の議を経て学長が行う。

附則 この規程は平成 20 年 7 月 17 日より施行する。

設置の趣旨・目的の達成状況に関する統括評価・所見

○「音楽マネジメント学科」の設置の趣旨・目的

「音楽マネジメント学科」では、「芸術文化の振興」や「音楽産業の発展」に貢献する教育研究を行い、国際的視野をもつ優れた人材の育成を理念に掲げている。そのために、音楽や芸術の専門知識を学び、併せて「経営管理学」や「IT（情報技術）」を学ぶことで「アートマネジメント」や「IT音楽産業」などの分野で活躍する人材を育成すること、また、キャリアデザインができ、自立の能力を身につけ国際的な視野をもつ人材を育成することを目的として、座学だけでなく、プロジェクトメソッドやケーススタディを取り入れ、コンサートやイベントの企画・運営の経験など、「実践」も取り入れた教育を行うこととしている。

○設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

教育課程等

実践教育の一環としての知識の修得と共に、地域の活性化への活動にも目を向けた以下のような教育の実践を行った。

- ・近隣のアメニティ向上のために活動している企業団体「堺筋アメニティ・ソサエティ」が開催するコンサート等のイベントの企画・運営。
- ・本町学舎が立地する大阪府中央区で地域社会に根ざした企業等の社会貢献活動を行うべく設立されている「中央区フィランソロピー懇談会」に参加。
- ・中小企業経営者などが集まる「大阪府中小企業家同友会」と共同開催でのイベント実施。
- ・大阪府中央区長との懇談会やパネルディスカッション。

また、学内の録音スタジオにおける本格的な録音技術教育がさらに強化され、各種録音技術や舞台機構調整技能士の資格取得等に向けた実習や、録音した音楽を編集する「ProTools」などのソフトウェアを使った実践的な演習も行った。

本学科の特徴でもある少人数教育をさらに徹底させると共に、入学直後から学生が主体となった学年を超えた自主ゼミ活動（研修会参加、他大学との合同ゼミ合宿参加、有志を集めてのグループ勉強会、地域貢献活動など）を数多く行った結果、参加学生の学習研究意欲の増進につながった。自主ゼミ参加でモチベーションを高めた上での、2年次後期から始まるゼミ形式講義でも、これらの経験が活かされており、十分な成果があがっていると考えている。特に、経営学分野では日経BP社主催の学術研究大会「日経ビジネス西日本インカレ」でグランプリを受賞するなど、きめ細かな少人数教育の効果が出てきている。

なお、専門科目については、不開講科目もなく予定通り授業が行われている。

施設・設備等

本町学舎での授業等は、平成24年度は火・木・金の週3回のみ2年次生に対して行われていたが、平成25年度からは3年次生も加わり、また、完成年度の平成26年度からは原則として2～4年次生までの授業が、当初計画通り行われている。南港学舎との行き来についても支障をきたすことなく予定通り運営されている。本町学舎での講義室、PC教室、グループレッスン室、楽器練習室、録音スタジオ、学生控室等の他、研究室、講師室等新たに竣工された各施設は、学生及び教員に予定通り利用されているのみならず、学生が企画・運営に参加する各種イベントや、公開講座等にも大変有効に使われている。

学生募集、入学者選抜等

学生募集に関しては、引き続き、オープンキャンパスへの参加促進を最重点課題とし、オープンキャンパス開催のメイン会場となる南港学舎から、2年次以降の授業等が行われる本町学舎へと移動し、音響関係の機材や、音楽録音・編集といったコンテンツの作成に使用する機材等の見学も行い、音楽ビジネス分野に興味を持ってもらえるよう、取り組みを強化した。また、高校や進学相談会場で行う模擬授業も積極的に行うほか、学内でも高校生向けの公開講座や学科紹介イベントを行い、オープンキャンパスだけに留まらない学生募集活動を行った。

しかし、平成 26 年度入学生の定員超過率は 0.26 に留まり、また、開設から完成年度までの 4 年間の入学定員超過率の平均も 0.40 と、十分な結果を残すことはできなかった。学科内で募集活動での情報共有を図るための学科会議を開き、意識確認を行う一方、入学者選抜に関しては、AO 入試や同窓会会員による特別推薦入試などでの学生確保をめざすほか、指定校制推薦入試や AO 入試の合格者を対象に「チャレンジ奨学生」の制度を設け、成績優秀者には授業料の減免を行うなど、経済的な負担の軽減策も取り入れ学生確保に向けた方策を強化することとした。

さらに、現状の入学者状況の改善に対処すべく、学部の入試委員会とは別に、「入学者増対策委員会」を設置し、入学者増に向けての検討・取り組みを実施するほか、学長主導のもとで「音楽学部検討委員会（仮称）」を立ち上げ、音楽学科、音楽マネジメント学科の将来を見据えた改革に取り組むこととしている。

企業実習、就職率向上等

今後の進路の参考もかねて、放送局などへの視察研修を実施し、直接現場で業務にあたっておられる方からの話を聞き、音楽ビジネスの市場や環境の“今”を理解するなどの体験を行った。また、企業の人事担当者に本学科学生向けに直接講演していただくなど、就職率向上のための教育課程内外の取り組みを強化している。

さらに、3 年次生の必修科目としている「インターンシップ研究」では、社会人基礎力をより強化するために、企業研究・業界研究を進めるとともに、社会で通用するビジネスマナーを基礎から学んでいる。3 年次生の必修科目である「インターンシップ実習」では「インターンシップ研究」で研究した業界を実際に体験し、就業経験を積んでもらうこととしている。

就職活動支援に関しては、学生支援センターとの連携の下、エントリーシートや履歴書の添削から面接指導まで、進路指導と就職活動支援を本格化させている。

なお、上記以外の事項については、ほぼ当初計画通りに運用がなされているが、完成年度以降も改革を行いながら、設置計画を確実に履行していきたいと考えている。